

学長定例記者会見要項

日 時： 令和6年9月5日（木） 11:00～11:45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター ウズベキスタンでの地域課題解決型事業創出プログラム実施に向け、山形県を含む6機関で実施協力のMOUを締結～「Yamagata yori-i project」の手法をウズベキスタンに実装～
2. 「ななはく！2024 ルーナ」が開幕！～山形大学附属博物館と地域・学生・同窓生・他大学・企業が連携！～
3. 一般公開 2024～ 山形大学医学部東日本重粒子センター 施設見学会 ～
4. 令和6年7月山形県北部豪雨災害について学会発表を行います～山形大学災害環境科学研究ユニット災害対応～
5. やまがた横断国際交流事業：庄内・村山食べ比べ芋煮会～農学部留学生サポーターとやまがた留学アンバサダーの合同イベント～
6. 7月25日の大雨による被害の報告について

お知らせ

1. 山形大学開学75周年記念イベントの開催について
2. 「第18回寒河江市産学官連携交流会」の開催～AI・デジタル技術とこれからのモノ・コト・ヒトづくり～
3. 社会人向け「地域防災力向上セミナー」Vol.2を開講します～市指定避難所である小白川キャンパス内で炊き出し体験を開催～
4. 『やまだいキッズラボ！2024 秋冬編』を開催します！～小中学生向け STEAM教育イベント～
5. 地域教育文化学部文化創生コース4年生による美術作品展「つみき」を開催～これまでの「学び」と「成長」の積み重ねを作品で振り返る～
6. 農業食料工学会第82年年次大会（2024 鶴岡大会）開催

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和6年10月3日（木） 11:00～11:45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（9月5日）発表

1. 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター ウズベキスタンでの地域課題解決型事業創出プログラム実施に向け、山形県を含む6機関で実施協力のMOUを締結

～「Yamagata yori-i project」の手法をウズベキスタンに実装～

アントレプレナーシップ教育研究センター長

山形県産業労働部 産業創造振興課長（兼）スタートアップ推進室長

おの でら たち し
小野寺 忠司

あん どう えい こ
安藤 詠子

2. 「ななはく！2024 ルーナ」が開幕！～山形大学附属博物館と地域・学生・同窓生・他大学・企業が連携！～

附属博物館学芸研究員

東北芸術工科大学芸術学部教授

東北芸術工科大学芸術学部専任講師

山形大学理学部理学科2年

お ば た けい すけ
小幡 圭祐

な か む ら けい こ
中村 桂子

ゆう き たい すけ
結城 泰介

おう み ふ み や
近江 郁哉

3. 一般公開 2024～ 山形大学医学部東日本重粒子センター 施設見学会 ～

山形大学医学部東日本重粒子センター長

大学院医学系研究科先進的医科学専攻/重粒子線医学講座教授

大学院医学系研究科先進的医科学専攻/重粒子線医学講座講師



いわ い たけ お
岩井 岳夫

そう だ ひかる
想田 光

4. 令和6年7月山形県北部豪雨災害について学会発表を行います～山形大学災害環境科学研究ユニット 災害対応～

山形大学災害環境科学研究ユニット所長

学術研究院（理学部担当） 教授

もと やま いさ お
本山 功

5. やまがた横断国際交流事業：庄内・村山食べ比べ芋煮会～農学部留学生サポーターとやまがた留学アンバサダーの合同イベント～

鶴岡キャンパス事務部学務課国際室 主任

留学生サポーター 農学部食料生命環境学科3年

やまがた留学アンバサダー 医学部看護学科2年

なか じ ま ま や
中島 麻耶

ち ば よし た か
千葉 芳敬

ご と う さ き
後藤 早希

6. 7月25日の大雨による被害の報告について

学 長

たま て ひろ と
玉手 英利

令和 6年（2024年）9月5日

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター ウズベキスタンでの地域課題解決型事業創出プログラム実施に向け、 山形県を含む6機関で実施協力のMOUを締結 ～「Yamagata yori-i project」の手法をウズベキスタンに実装～

【本件のポイント】

- アントレプレナーシップ教育研究センターは、ウズベキスタン共和国の雇用機会創出を目的に、2025年度からの地域課題解決型の事業創出プログラムの実施に向け、ウズベキスタンのビジネス開発銀行(BDB)、タシケント州、国際協力機構(JICA)、Uzbekistan-Japan Center(UJC)、山形県産業労働部の6機関で、プログラム検討・実施協力についてのMOUを締結した。
- プログラムは、山形県が2022年度から最上地区で実施し新事業創出に成果を上げている「Yamagata yori-i project」の手法を使い、タシケント州をモデル地域として、山形県、山形大学が有するノウハウをもとに、ウズベキスタンの地にあったプログラムを検討、実装していく。
- 今後、2025年度から3年間を目途に実施するプログラムをこの6機関で検討し、ウズベキスタンでの急速な人口増に見合った雇用機会創出に向け、地域課題解決から事業を創出し、利益を生み出すエコシステムを構築していく組織、プログラムを検討し、今年度中に実施契約を締結する。



【概要】

（背景・目的）

IMF 推計値において、ウズベキスタンの失業率は 2022 年 8.9%、雇用機会が労働人口増に追い付かず 2018 年以降、高い失業率（10%程度）が継続している。この課題に対処するために、同国では既存産業の収益力を高めることや起業を通じて雇用機会創出に努めており、取り組みの効果を上げるために、教育を通じて質の高い経営者を輩出することを目標としている。

この状況の中、昨年 11 月に BDB より中小企業経営者への教育、並びに起業家育成について、山形大学に対し協力依頼があり、アントレプレナーシップ教育研究センターで取り組んでいる実践的なアントレプレナー育成とリーンマネジメント手法を活用したプログラムを提供する意向について合意し、3 月 7 日に 2024 年度のプログラム提供の契約締結を実施した。現在、中小企業経営者向けオンデマンド講義、将来中小企業を指導していくコーディネータ候補生、BDB 経営陣、起業家に対する起業家育成の教育研修等を実施中である。

2025 年度からは、タシケント州をモデル地域とし、コレクティブインパクトの手法を活用し、セクターを超えた体制構築により、起業創出、参加企業の新事業展開の成果を上げている山形県の事業「Yamagata yori-i project」の手法を実装していく。

今回、2025 年度から 3 年間のプロダクト実施に向けた、検討・実施協力について、6 機関で MOU の締結を行い、今年度中に実施契約の締結を行う予定である。

尚、8 月 10 日 カザフスタンでの「中央アジア+日本」首脳会議の後、岸田首相がウズベキスタンに訪問した際のビジネスフォーラムにおいて MOU のお披露目を行う予定だったが、南海トラフ地震臨時情報の発表を受け地震対応等のため、岸田首相の訪問が中止となり、ウズベキスタンでのビジネスフォーラムは中止となった。

(プログラム概要)

- Step1: 中小企業経営者を指導、新事業を創出するコーディネータの教育 (2024 年度から継続実施)
Step2: タシケント州をモデル地区とした、yori-i project による地域課題解決型の新事業創出の実践。
Step1 で、教育したコーディネータが実際に新事業創出に取り組む。
Step3: モデルケースで経験、実績を積んだコーディネータが、他地域での独自でプログラムを展開。

お問い合わせ

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 営生・服部
TEL 023-628-4075 メール yu-entre@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【MOU連携機関の概要、署名者】

○Business Development of Bank (BDB)

署名者 | Sakhi Annaklichev, Chairman of the Management Board
所在地 | Navoi Street 18-A, Tashkent, Uzbekistan
事業内容 | ウズベキスタンにおける各種中小企業支援プログラムを通じた融資

○Tashkent Region Government of Republic of Uzbekistan

署名者 | Zoir Mirzayev, Mayor of Tashkent Region
所在地 | Tashkent, Uzbekistan
事業内容 | 首都タシケント市を含む 15 地区を有するタシケント州。yori-i project での地域課題解決型の事業創出を行うモデル地区としてフィールドを提供する。

○山形県

署名者 | 岡崎 正彦 産業労働部 部長
所在地 | 山形市松波二丁目 8 番 1 号
事業内容 | Yamagata yori-i project で成果を上げている経験をもとに MOU 締結機関と検討を実施

○Japan International Cooperation Agency Uzbekistan Office (JICA)

署名者 | 尾藤 好文 Chief Representative
所在地 | 5F International Business Center 107 B, Amir Temur, Tashkent, Uzbekistan
事業内容 | ウズベキスタン政府における人口増、環境問題対応等に対する貢献、青年海外協力隊の派遣による企業支援、事業化創出の支援を実施

○The Uzbekistan-Japan Center(UJC)

署名者 | 岩崎 寛央 Co-Director
Shamshimukhamed Nuriev Co Director
所在地 | 6F International Business Center 107 B, Amir Temur, Tashkent, Uzbekistan
事業内容 | ウズベキスタンにおける日本語教育、文化や伝統を学ぶプログラム、実践的な起業家教育を提供し、ビジネス、教育、文化の様々な分野における日本との交流プラットフォームを実現

○山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター

署名者 | 小野寺 忠司 (教授) センター長
設立年月日 | 令和 (2022) 4 年 4 月 (令和 5 年 4 月から現センター名に変更)
所在地 | 山形市小白川町一丁目 4 番 12 号 (小白川キャンパス人文社会科学部 3 号館 8 階)
事業内容 | アントレプレナーシップ教育 (大学生、社会人、企業人、団体、中高生)
企業向けリーダーシップ教育、新事業創出教育
アントレプレナーシップに関する社会・地域との連携
ウズベキスタンへのアントレプレナーシップ教育プログラムの提供

ウズベキスタン共和国における地域課題解決型事業創出プログラム (Uzbekistan yori-i project) 実施に向けたMOU締結について

概 要 説 明

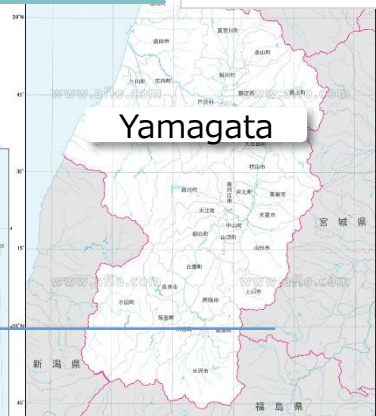
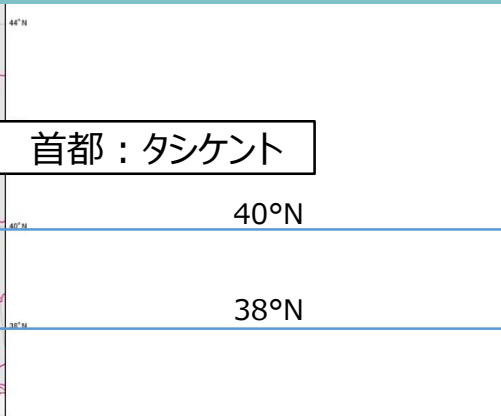
山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター

センター長 教授 小野寺 忠司

2024. 9. 5

Uzbekistan共和国について

ウズベキスタンは、中央アジアに位置する共和制国家で、世界に2つしかない二重内陸国（隣接する全ての国が海に面していない国）。中央アジア5カ国の中で最大の人口を有する。首都はタシケント。
この地は古来シルクロードの中継地、東西交渉の要所でもあり、シルクロードのオアシスといわれた。



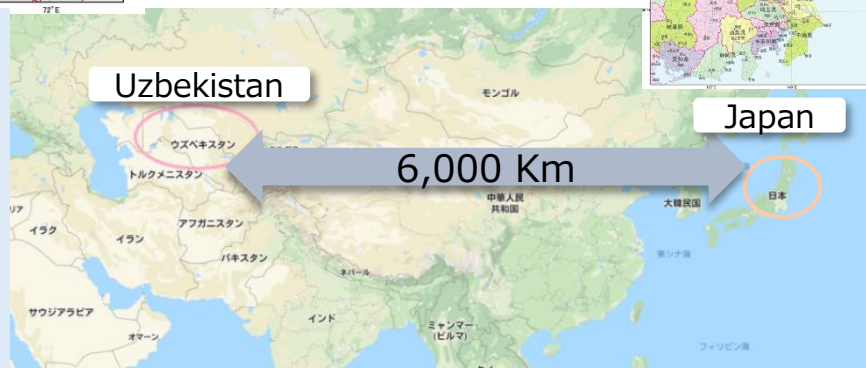
ウズベキスタン共和国

人口：3,636万人※

首都：タシケント

言語：ウズベク語

※ 中央アジア地域全体の人口の40%を占めている。今後も増加が予測されており、2025年には3,705万人に達すると見込まれている。



日本

人口：1億2,397万人

首都：東京都

言語：日本語

山形県：

人口：102万人

*1: 2022年IMF統計

- ウズベキスタンでは、人口が**毎年100万人増え、80万人の若者が労働市場へ流入**
 - 雇用機会が労働人口増に追い付かず**失業率が 8.9%**と高水準で推移（日:2.6%）。*1
 - この課題に対応するため、同国政府は、既存産業、特に中小零細企業(GDPの54%, 労働人口の78%)の事業成長、及び **起業を通じた雇用機会の創出**を重点政策としている。
 - 政策の効果を上げるために、**教育を通じて質の高い経営者を輩出**することが国策として決定され、**大統領令**が発出されている。
- 
- 2024年度から、同国労働省傘下の**ビジネス開発銀行（BDB : Business Development Bank）**と、**山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター**が**起業家教育プログラム**の提供、および現地での運営について、業務委託契約を締結し、現在実施中。

政府系銀行 ビジネス開発銀行(BDB)と プログラム提供についてLOIを調印 (2024/1/10)



ウズベキスタン・日本 ビジネスフォーラムでのお披露目

(1月10日@ウズベキスタン タシケント)

左から、ラジス・クドラトフ 投資産業貿易省、ビジネス開発銀行 CEO代理
小野寺 山形大学教授、上月 経済産業副大臣

2024年度、起業家育成プログラム提供の 事業委託契約を締結 (2024/3/7)



山形大学 学長記者会見 記事 (読売新聞 3月13日)

中央：ビジネス開発銀行
サフィー・アンナクリエフ CEO

タシケント地域における地域ビジネスの創出と起業家の育成を通じた
課題解決に資するプロジェクト（Uzbekistan yori-i project）について

6機関で実施協力に向けたMOUを締結 (2024/8/10)

※当初、岸田総理出席のビジネスフォーラムでお披露目予定だったが、中央アジアサミットとともにビジネスフォーラムが延期となったため、それぞれの機関と個別に意見交換を実施

締結機関

- ・ウズベキスタン ビジネス開発銀行(BDB)
- ・ウズベキスタン タシケント州
- ・国際協力機構 (JICA)
- ・Uzbekistan-Japan Center (UJC)
- ・山形県
- ・山形大学
アントレプレナーシップ教育研究センター

政府連携

モデルエリア対応

青年海外協力隊
の活用等

起業家教育の連携

Yamagata yori-i
Projectの知見提供

プロジェクト管理



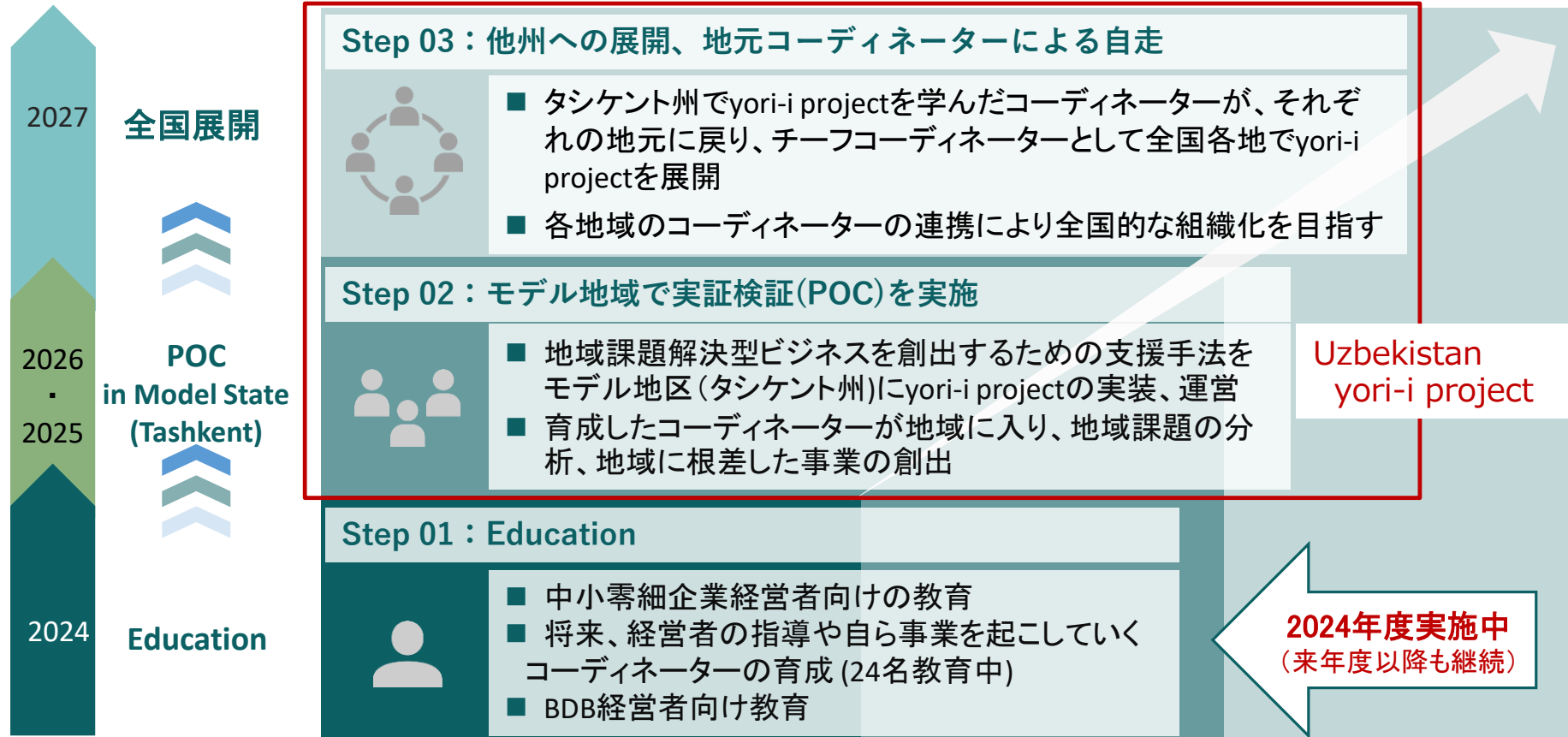
左から、岡崎 山形県産業労働部長
サフィー・アンナクリチエフ BDB CEO
小野寺 山形大学 教授



中央、エルキン・ムヒディノフ
タシケント州 第一副知事



左から二番目：尾藤 JICAウズベキスタン 所長、右側 岩崎 UJC 共同所長

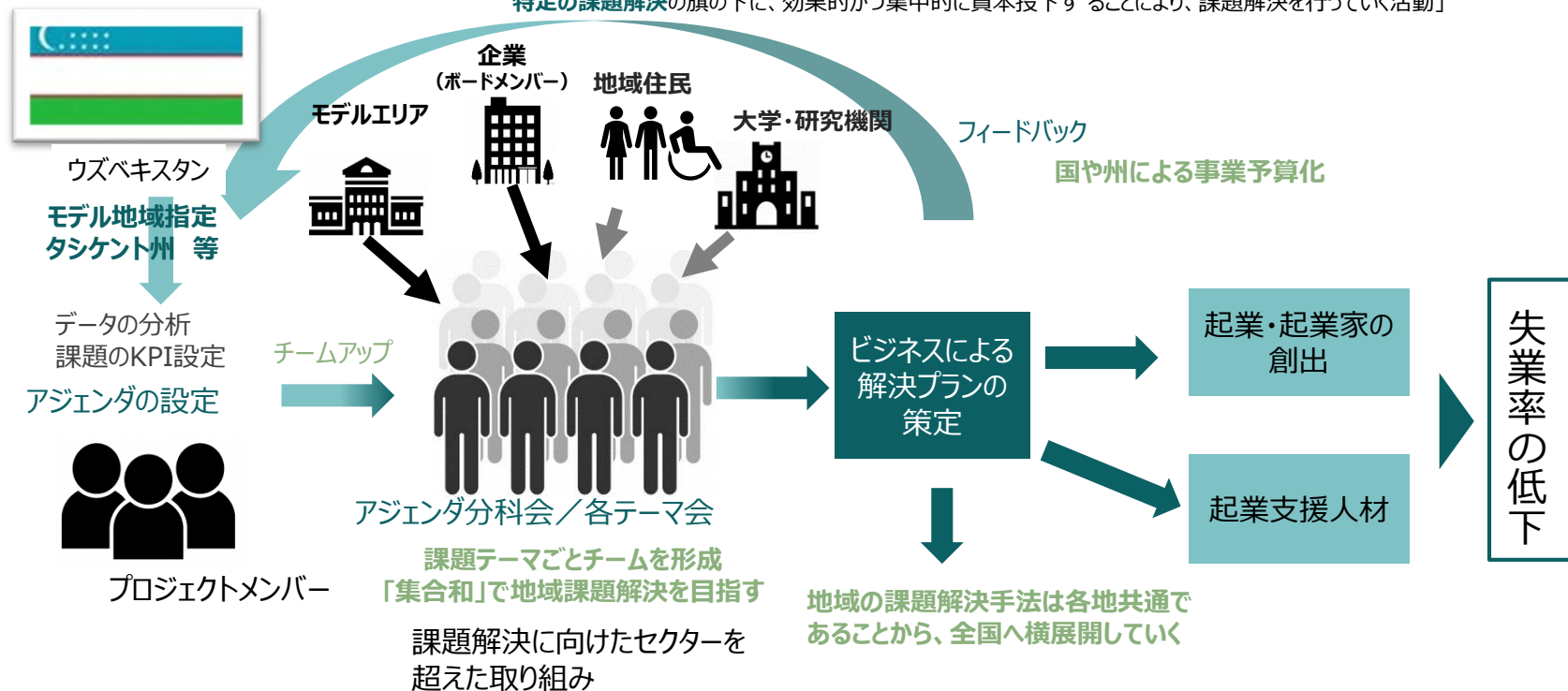


「コレクティブインパクト」による事業展開

社会実験として事業をスタートさせ、改善を繰り返し、事業としての精度を高めていく

Collective Impact（集合同的成果・影響力）

「コレクティブ・インパクトとは、特定の社会課題に対して、ひとつの組織の力で解決しようとするのではなく、**行政、企業、大学、NPO、基金、市民などがセクターを越え**、互いに強みやノウハウを持ち寄って、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変革を目指すアプローチのことである。社会課題解決のために、**ヒト・モノ・カネ・情報**を**特定の課題解決**の旗の下に、効果的かつ集中的に資本投下することにより、課題解決を行っていく活動」



※ 今回のMOU締結者に加え、ウズベキスタンにおける日本研究や日本語教育の中核であるタシケント国立東洋学大学や、雇用・労働関係省の教育訓練施設であるモノセンターとも今後の連携について検討していく予定



**TSUOS - TASHKENT STATE
UNIVERSITY OF ORIENTAL STUDIES**

タシケント国立東洋学大学



**モノセンター／
日本語および特定技能試験準備センター**

課題解決型ビジネス創出のための「教育」の場

山形に来て先進国の課題解決を学ぶ

- ビジネス関連の人材育成も視野に入れた連携の検討
- 日本への留学生の繰り出し、高度人材の育成 等

これから発展していく国での課題解決を学ぶ

課題解決型ビジネス創出に向けた「実践」の場

Uzbekistan Yori-i Project

タシケント州

BDB

JICA

UJC

山形県

山形大学

令和6年（2024年）9月5日

「ななはく！2024 ルーナ」が開幕！ ～山形大学附属博物館と地域・学生・同窓生・他大学・企業が連携！～



山形大学出身の落語家・立川志らびーさんによる「そば・ラーメン」の落語



公認サークル「まちの記憶を残し隊」による報告会



東北芸術工科大学版画コースによる明治期の木版の印刷実演



山形市出身の劇作家・後藤ひろひとさんによる樹脂粘土ワークショップ

【本件のポイント】

- 山形大学附属博物館は、2022年から「地域の記憶「共創」アーカイブ」事業をスタートさせました。その成果の公開と、「記憶」のさらなる収集・蓄積をすすめるためのイベント「ななはく！2024 ルーナ」を9月27～29日に七日町で実施します。今回のテーマは「そば・ラーメン」です。
- 山形大学出身の落語家・立川志らびーさんと山形大学の大学院生・宝笑亭熊水さんによる「ななはく！寄席」や山形大学の公認サークル「まちの記憶を残し隊」の報告会など恒例のイベントのほか、東北芸術工科大学版画コースとの共催による明治期の木版・石版・3Dプリンターの印刷実演「七日町印刷博物館～150年の物語～」などイベントが目白押しです。
- 今回は山形新聞「紙齢5万号」記念プロジェクト「山形にUMA（ユーマ）はごまんという！」ともコラボし、山形市出身の劇作家・後藤ひろひと氏によるトークショー「山形とUMA」やワークショップ「山形UMAを樹脂粘土で作ろう！」を実施します。

お問い合わせ

山形アーカイブ実行委員会事務局（山形大学附属博物館）

電話：023-628-4930 メール：nanahaku.yamagata@gmail.com

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【開催概要】（詳細はチラシをご確認ください）

展示「七日町の過去・現在・未来」

期間：9月27日（金）～29日（日）10:00～16:00

会場：山形市中央公民館4階ギャラリー（山形市七日町1-2-39 アズ七日町）

まちの記憶を残し隊によるそば・ラーメンに関する展示

好きなそば・ラーメンの写真でオリジナル缶バッジをつくろう！体験もあります。

なんでも相談室（古い写真や地図の保存について相談にのります）も実施！

●まちの記憶を残し隊報告会「山大生の活動を伝え鯛」 名誉顧問・後藤ひろひとさんが講評！

日時：9月28日（土）10:00～12:00

会場：山形市中央公民館5階視聴覚室

予約不要・直接会場にお越しください

●けっぱつちゃんねる

ゲスト：後藤ひろひとさん

日時：9月28日（土）19:00～20:00

会場：山形市中央公民館5階研修室4

ハイブリット開催

●まちの記憶を聞く会

話者：酒井昌夫さん（酒井製麺所）、鈴木文明さん（鈴木製粉所）

日時：9月29日（日）14:00～15:00

会場：山形市中央公民館5階視聴覚室

予約不要・直接会場にお越しください

●ななはく！寄席

出演：立川志らびーさん（立川志らく門下二つ目）

宝笑亭熊水さん（山形大学大学院生・山形落語愛好協会所属）

日時：9月29日（日）17:30～20:00

会場：庄司屋御殿壱七日町店2階

定員：25名（事前申込制・先着順）

ご飲食代：4000円（食事＋ワンドリンク）

東北芸術工科大学版画コース共催「七日町印刷博物館～150年の物語～」

期間：9月27日（金）～29日（日）10:00～16:00

会場：N-GATE（山形市七日町1-1-1）

明治期に使われていた教科書や七日町の広告、地誌の木版の板木を復刻印刷します！さらにその板木を3Dプリンターで復元！昨年好評を得た、七日町石版プロジェクト第二弾も！木版、石版、3Dプリンター！？明治と現代のテクノロジーがクロスオーバーする時空を超えた印刷博物館。ぜひ体験ください！

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

山形新聞共催イベント

●後藤ひろひとトークショー「山形とUMA（未確認生物）」

出演：後藤ひろひとさん・玉手英利学長（山形大学）

時間：9月27日（金）17:00～20:00

会場：十一屋レストランkitōne（山形市七日町1-4-32 十一屋七日町本店内）

定員：20名（事前申込制・先着順）

ご飲食代：4000円（食事＋ワンドリンク）

●山形UMAを樹脂粘土でつくろう！

講師：後藤ひろひとさん

日時：9月28日（土）13:00～15:00

会場：山形市中央公民館5階研修室4・視聴覚室

対象：小学生～大学生

定員：30名（事前申込制・先着順）

お問い合わせ

山形アーカイブ実行委員会事務局 山形大学附属博物館 佐藤琴

電話：023-628-4930

メール：nanahaku.yamagata@gmail.com

主催等

主催：山形アーカイブ実行委員会

共催：山形まちづくり株式会社・山形大学附属博物館

後援：株式会社山形新聞社

協力：合同会社 AMANE・Code for History

助成：令和6年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業

令和6年度文部科学省「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」

山形大学附属博物館と山大生が組織する「まちの記憶を残し隊」が
まちの皆さんと一緒に収集した地域の「記憶」を一挙公開!

vol. 5

ななはく!

2024ルーナまちの記憶市 9/27^{FRI} ▶ 29^{SUN}

第1会場：山形市中央公民館（山形市七日町1-2-39 アズ七日町）

第2会場：N-GATE（山形市七日町1-1-1）

そのほか十一屋と庄司屋御殿堀七日町店でもイベントがあります

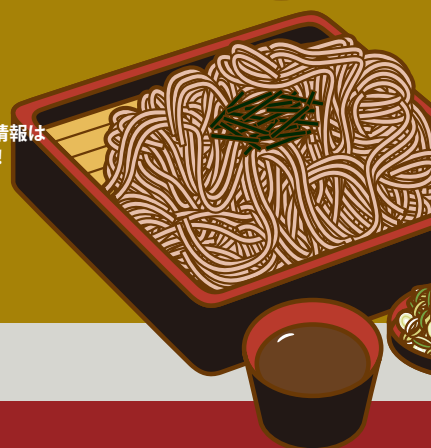


👉 ななはく!の最新情報は
こちらでチェック!

入場・参加無料

(飲食費がかかるイベントがあります)

イベント
盛りだくさん!
裏も
チェック!



今回のテーマは「そば・ラーメン」

展示「七日町の過去・現在・未来」

期間：9月27日(金)～29日(日) 10:00～16:00

会場：山形市中央公民館4階ギャラリー

まちの記憶を残し隊によるそば・ラーメンに関する展示
好きなそば・ラーメンの写真でオリジナル缶バッジをつくろう!体験(無料)
なんでも相談室(古い写真や地図の保存について)も実施!



● まちの記憶を残し隊報告会「山大生の活動を伝え鯛」

名誉顧問・後藤ひろひとさんが講評!

日時：9月28日(土) 10:00～12:00

会場：山形市中央公民館5階視聴覚室

予約不要・直接会場へどうぞ



● まちの記憶を聞く会

話者：酒井昌夫さん(酒井製麺所)

鈴木文明さん(鈴木製粉所)

日時：9月29日(日) 14:00～15:00

会場：山形市中央公民館5階視聴覚室

予約不要・直接会場へどうぞ



「七日町印刷博物館～150年の物語～」

東北芸術工科大学版画コース共催

期間：9月27日(金)～29日(日) 10:00～16:00

会場：N-GATE(山形市七日町1-1-1)

明治期に使われていた教科書や七日町の広告、
地誌の木版の板木(山形市蔵)を複製印刷します!
さらにその板木を3Dプリンターで復元!昨年好評を得た、七日町石版プロジェクト第二弾も!木版、石版、3Dプリンター!?明治と現代のテクノロジーがクロスオーバーする時空を超えた印刷博物館。当時の石版や教科書の板木を実際に印刷できます。ぜひご体験ください! ※トートバッグへの印刷は有料となりますが、3Dプリンターで作製した素敵なチャームをプレゼント!

予約不要・直接会場へどうぞ



● ななはく! 寄席

出演：立川志らびーさん(立川志らく門下二つ目)

宝笑亭熊水さん(山形大学大学院生・山形落語愛好協会所属)

日時：9月29日(日) 17:30～20:00

会場：庄司屋御殿堀七日町店2階

定員：25名(事前申込制・先着順)

ご飲食代：4000円(食事+ワンドリンク付)



申込QRコード

□ けっぱつちゃんねる



ゲスト：後藤ひろひとさん

日時：9月28日(土) 19:00～20:00

会場：山形市中央公民館5階研修室4

ハイブリット開催(視聴URLはななはく!ホームページに掲載)

主 催：山形アーカイブ実行委員会 共 催：山形まちづくり株式会社・山形大学附属博物館

後 援：株式会社山形新聞社 協 力：合同会社 AMANE・Code of History

助 成：令和6年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業
令和6年度文部科学省「AI等の活用を推進する
研究データエコシステム構築事業」



お問い合わせ：山形アーカイブ実行委員会(山形大学附属博物館) TEL：023-628-4930(平日9時～17時) メール：nanahaku.yamagata@gmail.com



山形新聞共催イベント

●後藤ひろひとトークショー「山形とUMA(未確認生物)」

出演:後藤ひろひとさん・玉手英利学長(山形大学)
 ゲスト:武居万理子さん(雪国やまがた伝統野菜PR大使)
 時間:9月27日(金) 17:00~20:00
 会場:十一屋レストランkitōne
 (山形市七日町1-4-32 十一屋七日町本店内)
 定員:20名(事前申込制・先着順)
 ご飲食代:4000円(食事+ワンドリンク)

●山形UMAを樹脂粘土でつくろう!

講師:後藤ひろひとさん
 日時:9月28日(土)13:00~16:00
 会場:山形市中央公民館5階研修室4:視聴覚室
 対象:小学生~大学生
 定員:30名(事前申込制・先着順)



申込QRコード



申込QRコード

ITALIA

Bologna Fair
Stamp Rally

同時開催

山形大学附属博物館が交流協定を締結している いち

イタリア ボローニャ市

スタンプラリー

「ななはく!」2つのメイン会場と七日町の飲食店 1店、合計3つのスタンプを集めると先着100名様にもれなくイタリア・ボローニャ直送グッズをプレゼント! 山形大学グッズもあります!

参加飲食店: 庄司屋、Classic Café、いつもの場所、十一屋、パーキングカフェ
 京都鉄板焼き嘉ちゃん、タリーズコーヒー、フラム

景品引換所: 山形市中央公民館4階ギャラリー
 景品引換期間: 9月27日(金)~29日(日)10時~16時

The network of Museums and
Collections of the University of Bologna

X

Yamagata University Museum

STAMP

第1会場
中央公民館

STAMP

第2会場
N-GATE

STAMP

飲食店

※飲食ご利用の方へスタンプ押印



PRESS RELEASE



山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）9月5日

初

一般公開 2024

～ 山形大学医学部東日本重粒子センター 施設見学会 ～



【本件のポイント】

- 当センター初となる一般公開（施設見学会）を開催いたします。
- まだ世界で4台しか稼働していない重粒子線照射装置（回転ガントリー）や炭素イオンを加速させる直径約20mのシンクロトロン加速器も見学することができます。
- こども物理教室やスタンプラリー（特典付）も同日開催。オリジナル動画で重粒子線がん治療について学んでいただけます。
- 出店予定のキッチンカー、プロジェクト：cafe ARB、まる芋、Coco夢や、レモネードスタンド

【開催概要】

■ 施設見学会

日時：令和6年11月9日（土）12:00～16:00終了予定

会場：山形大学医学部東日本重粒子センター

駐車場：山形大学医学部附属病院の有料駐車場（報道機関・車いすの方はセンター前に駐車可）

定員：300人（予定）

参加費：無料ですが、事前申し込みが必要です。

対象：一般市民

■ こども物理教室

日 時：令和6年11月9日（土）14：00～14：30、15：00～15：30の計2回
会 場：山形大学医学部東日本重粒子センター3階 エレベーターホール
定 員：50人（1回25人）
参加費：無料ですが、事前申し込みが必要です。
対 象：3歳～小・中学生

【参加申込方法】

申込受付：9月6日（金）から

下記のURLからお申込みください。

URL： <https://x.gd/zdRBr>（施設見学会）

URL： <https://x.gd/fHXUw>（こども物理教室）



施設見学会



こども物理教室

※こども物理教室に申し込みのお子さまとその保護者は、施設見学会への参加申し込みは不要（好きな時間に見学可能）

【重粒子線がん治療とは】

- ✧ 放射線治療の一つで、大型の加速器で加速した炭素の原子核を体外からがん細胞に照射してがん細胞のDNAを破壊し、治療する先端のがん治療法です。
- ✧ 通常のX線による放射線治療と比較して、がん細胞に線量を集中させやすく、がん細胞を殺す効果がきわめて強いことが特長で、がんの根治的治療に適した治療法です。治療期間も短く、副作用も比較的軽いいため、高齢の患者さんを中心に多くの患者さんが東北地方全体から来院しています。
- ✧ 大型で高額な治療装置を必要としており、東北・北海道では、山形大学でのみ実施しています。

当日、取材をご希望の場合は、別紙にてお申し込みください。

お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務室

電 話：023-628-5576

e-mail：yu-heavyion@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL： <https://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/>



山形大学医学部

東日本重粒子センター

EAST JAPAN HEAVY ION CENTER

FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY

山形大学医学部東日本重粒子センター 行

(e-mail : yu-heavyion@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

東日本重粒子センター 一般公開 2024

【令和6年11月9日(土)開催】

社名

担当者名

電話番号

※開催日当日(土曜日)に連絡のつく携帯電話の番号等をご記入ください。

出席人数

テレビカメラの有無 有 ・ 無

取材を希望する時間帯に○をつけてください。

	11:45- 13:00 受付スタート・見学会
	13:00- 14:00 見学会
	14:00- 14:30 こども物理教室(1回目) ※この間も見学可能です。
	14:30- 15:00 見学会
	15:00- 15:30 こども物理教室(2回目) ※この間も見学可能です。
	15:30- 16:00 見学会

11月8日(金) 17時までに送信願います。

東北初の重粒子線施設を見てみよう!



山形大学医学部 東日本重粒子センター 施設見学会

11月9日(土) 12:00 ~ 16:00

オープンから4年、北日本唯一の重粒子線施設。まだ世界で4台しか稼働していない回転ガントリ照射装置やシンクロトン加速器など普段なかなかお見せできないコアな部分まで公開します。

**参加費
無料**

事前のお申し込み
が必要です

スタンプラリー

12:00~16:00

センターを巡ってスタンプを集めよう!
オリジナルクリアファイルをプレゼント

こども物理教室

14:00~/15:00~

磁石を使った楽しい実験で
物理学の不思議を体験しよう!



メドビー

キッチンカーもやってくる!



cafe ARB
まる芋
CoCo夢や



レモネードスタンド

ボランティアサークル「nicoこえ」のメンバーが参加! 売り上げは小児がん支援に役立てられます



お申し込みは裏面へ▶▶

参加お申し込みはこちらから

山形大学医学部東日本重粒子センター施設見学会

入場時間(先着順/各回定員30名)

- ①12:00～12:20 ②12:20～12:40 ③12:40～13:00 ④13:00～13:20
⑤13:20～13:40 ⑥13:40～14:00 ⑦14:00～14:20 ⑧14:20～14:40
⑨14:40～15:00 ⑩15:00～15:20

※複数でご参加の場合もそれぞれお申し込みください(抱っこやベビーカーでご来場のお子さまは除く)

施設見学会
参加申込QRコード



スタンプラリー

スタンプを全て集めた方には、オリジナルクリアファイルをプレゼント

見学会にご来場の方は皆さんご参加いただけます。入場の際にマップをお渡しします。

こども物理教室

参加者にはオリジナルのボールペンをプレゼント

【時間】①14:00～14:30 ②15:00～15:30 (先着順/各回定員25名)

【対象】3歳～小・中学生

【内容】重粒子線治療施設のコア技術「加速器」。その基礎となる電磁力を使ってボールを発射する実験装置を作り、楽しい実験を行います。

【講師】^{そう} ^だ ^{ひかる}
想 田 光 (山形大学医学部重粒子線医学講座講師/医学物理士)

こども物理教室
参加申込QRコード



(保護者の方もこちらからお申し込みください)

公開内容

2階 治療・待合エリア



固定照射室

水平方向からのビームで主に前立腺がんの治療を行います。これまで1300人以上の前立腺がんの患者さんが照射治療を受けました。



回転ガントリー照射室

360度あらゆる角度から治療部位にピンポイントで重粒子線を照射しますので患者さんは楽な姿勢のまま治療を受けることができます。



回転ガントリー照射装置

世界最小、最軽量化に成功した回転ガントリー照射装置(全長10m、重量200t)は従来型の3分の2程度の大きさながら、迫力十分です。

地下1階 装置エリア

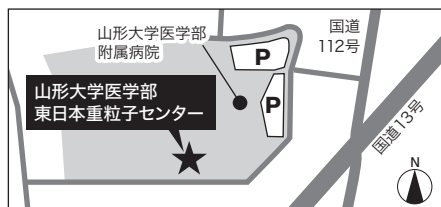


加速器

地下10mの位置にある加速器室では、重粒子線のもとになる炭素イオンを加速させる直径約20mのシンクロトロン加速器をご覧いただけます。

山形大学医学部東日本重粒子センターとは

構想から16年の時を経て2020年に完成した、東北・北海道エリアで初の重粒子線がん治療施設。国内メーカーや研究機関の協力により、従来型より省電力、コンパクトな“山形モデル”を実現しました。さまざまな角度から照射可能な「回転ガントリー」は世界で3台目。また総合病院に直結しているのは世界初です。患者さんにとっては照射中に特に痛みを感じることなく、楽な姿勢で治療を受けられるのが大きな特徴。公的医療保険の適用範囲も拡大し、今年年間600人以上が治療を受けています。



お問い合わせ



山形大学医学部
東日本重粒子センター
Tel.023-628-5576



〈access〉山形駅から山交バス「大学病院・東海大山形高」行き約15分 飯田アパート前下車 ※駐車場は山形大学医学部附属病院の有料駐車場をご利用ください。

令和6年（2024年）9月5日

令和6年7月山形県北部豪雨災害について学会発表を行います ～山形大学災害環境科学研究ユニット災害対応～

【本件のポイント】

- 令和6年（2024年）7月25日からの大雨による山形県北部における豪雨災害について、9月8～10日に山形大学小白川キャンパスで開催される日本地質学会第131年学術大会（2024山形大会）において緊急展示（ポスター発表）を行う。
- 日本地質学会の学術大会では、緊急かつホットなテーマについて議論する場を提供するために、災害調査報告や速報性の高い新技術・成果紹介などの「緊急展示」（ポスター発表）を設けている。
- これまでの調査で把握した変状や被害状況について、全国規模の学会において速報的な報告を行い、専門家集団に広く周知を図るとともに、多角的な視点にもとづく議論を喚起したい。



【概要】

令和6年7月25日午前から7月26日未明にかけて、活発化した梅雨前線の活動により線状降水帯が発生し山形県から秋田県にかけて大雨となり、山形県では庄内・最上地域を中心に、堤防決壊、斜面崩壊、土石流等の影響により家屋の浸水・全半壊、農地冠水・土砂流入、道路・鉄道損傷など甚大な被害が生じ、3名の命が失われた。被災地域が広域だったため、山形大学災害環境科学研究ユニットでは7月27日以降、メンバーで作業地域を分けて、庄内・最上地域の各地（酒田市・遊佐町・新庄市・真室川町・鮭川村・戸沢村・大蔵村・最上町・舟形町）において現地調査を行ったことから、特徴的な変状や被災状況について、地質学会の緊急展示の場を活用して速報的な報告を行うこととした。

【背景】

山形県における線状降水帯の発生は令和4年8月の山形県南部での豪雨災害の時以来2度目のことであり、警戒レベル5の大雨特別警報も発令され、山形県における水害・土砂災害の激甚化・頻発化を示唆している。令和4年8月豪雨災害と今回の豪雨災害に関する理解と検証が進み、今後の自然災害に備えて山形県全県での防災対策に生かされることが期待される。

日本地質学会は、地質学の発展や普及を目指して1893（明治26）年に創立された、100年以上の伝統をもつ全国規模の学会であり、日本列島の成り立ちや資源探査、環境問題、自然災害等の課題に取り組む研究者や関係職種が参集して、年に1回学術大会を開催している。山形での開催は1986年以来38年ぶりとなる。山形大会の詳細については8月1日の学長記者会見（プレスリリース）で紹介した。

【ポスター発表】

タイトル：令和6年7月25日からの大雨による山形県北部における豪雨災害

講演者：本山 功（山形大・理）・三辻和弥（山形大・工）・熊谷 誠（山形大・地教）・村山良之（山形大・地教）・橋本智雄（中央開発）・佐藤正成（中央開発）・岩田尚能（山形大・理）・加々島慎一（山形大・理）・石垣和恵（山形大・地教）・八木浩司（山形大・地教、深田地質）

講演日：令和6年9月8日（日）～10日（火）。コアタイム（解説する時間帯）は9月9日（月）13:30～15:00を予定。

お問い合わせ

学術研究院教授 本山 功（地質学）／理学部担当（災害環境科学研究ユニット所長）

TEL 023-628-4776 メール i-motoyama@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

日本地質学会第131年学術大会(2024山形大会) 緊急展示(ポスター発表)

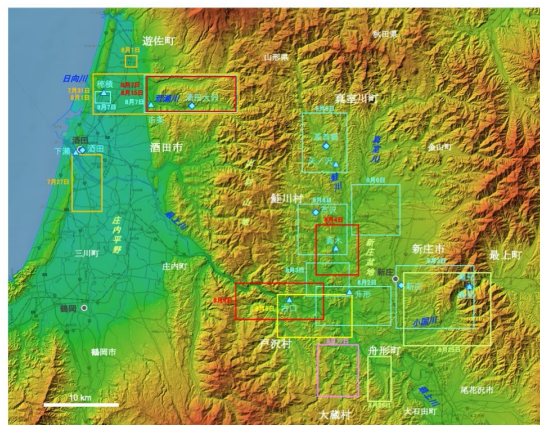
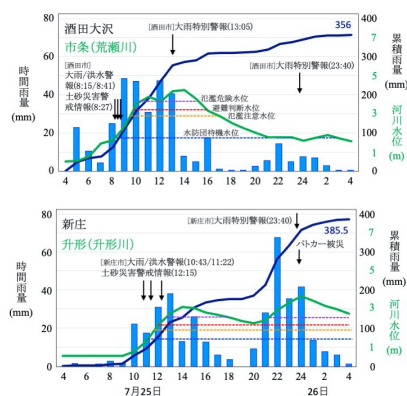
タイトル：令和6年7月25日からの大雨による山形県北部における豪雨災害

～山形大学災害環境科学研究ユニット調査速報～

講演者：本山 功¹、三辻和弥²、熊谷 誠³、村山良之³、橋本智雄⁴、佐藤正成⁴、岩田尚能¹、加々島慎一¹、石垣和恵³、八木浩司^{3, 5}

1. 山形大学理学部、2. 山形大学工学部、3. 山形大学地域教育文化学部、4. 中央開発株式会社、5. 深田地質研究所

講演日：令和6年9月8日(日)
～10日(火)。
コアタイム(解説する時間帯)：9
月9日(月)13:30～15:00。



1

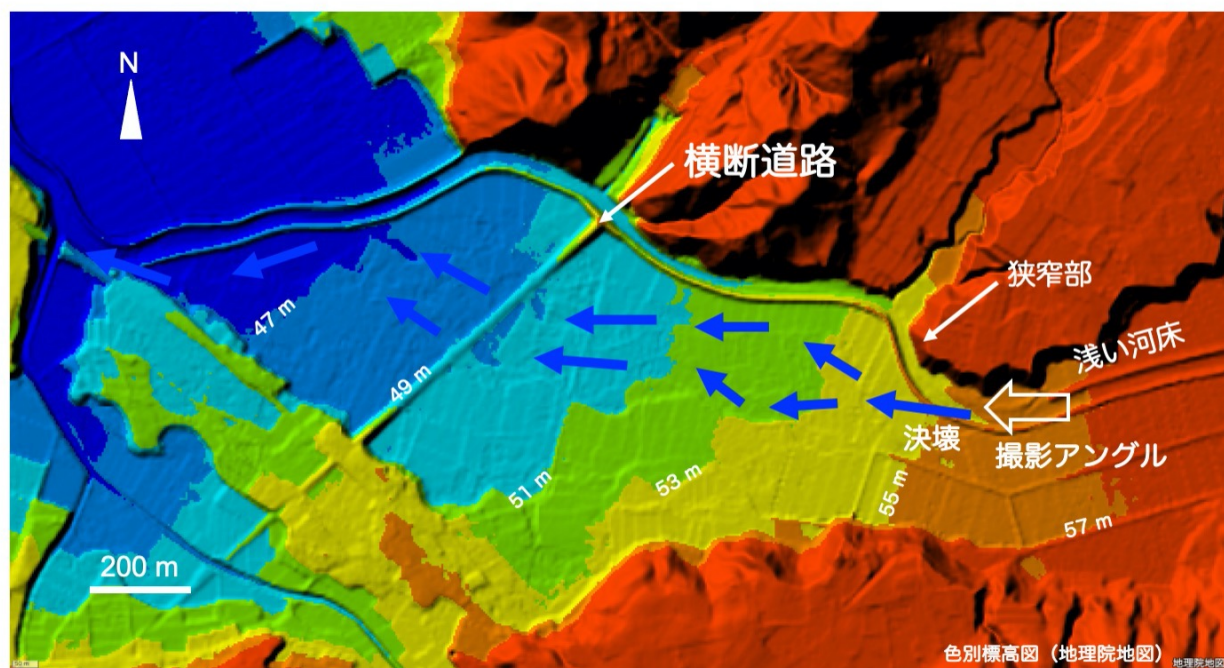


酒田市北青沢小屋沢では、小屋沢からの土石流によって集落全体に土砂が流入、堆積した。

2



3



直線的な流路からカーブにさしかかった水流が屈曲部での遠心力も加わってカーブ外側を強く攻撃したこと、河床が浅いため河道断面積が小さく流下能力が低く溢れやすいこと、およびボトルネックとなる地形(狭窄部)によりカーブの先で水の流れが阻害されてカーブ付近で水位が高まったこと、これら3つの効果によって決壊が生じたと考えられる。

4



荒瀬川がつくる扇状地に立地する酒田市麓・観音寺地区では扇頂部の右岸からの越水により氾濫が生じ、市街地が浸水した。荒瀬川中流の谷底平野部では、外水氾濫によって想定最大規模の洪水浸水想定区域をこえる範囲が浸水した。

5

地質学会プログラム

日本地質学会第 131 年学術大会（2024 山形） 全体日程

2024.8.15 修正

受付：
基盤教育棟111

会 場		1日目 9月8日 (日)					2日目 9月9日 (月)					3日目 9月10日 (火)					17:30 -19:00 夜間集会						
		8:45-12:00		12:30 -13:30 ランチョン	13:30 -15:00			8:45-12:00		12:30 -13:30 ランチョン	13:30 -15:00	15:00-17:30		18:00 -19:30 夜間集会	8:45-12:00			12:30 -13:30 ランチョン	13:30 -15:00	15:00-17:00			
口 頭	1	1F	112 (210)	S1. 能登半島地震と・・・ 8:45-12:00		構造 定例	ポ ス タ ー コ ア タ イ ム	表 彰 式 ・ 記 念 講 演 会 ※ (厚生会館)※ 22F教室・基盤教育の各ホール	T18. 令和6年能登半島地震 8:45-12:00		海 洋	T14. 沖縄トラフ 15:00-17:30		J-DESC	T9. 九州弧の地体構造 9:00-12:00		ポ ス タ ー コ ア タ イ ム	T17. 沈み込み帯 15:00-17:15		年 代 用 語			
	2	2F	121 (132)	G9. ★ 地球化学		法地質			T5. ★ 原子力			ポ ス タ ー コ ア タ イ ム	T8. 都市地質学 15:00-17:30		環境	T11. 鉱物資源研究 8:45-12:00							
	3	2F	122 (210)	T10. 岩盤の変形と反応 8:45-12:00		ジェンダー ダイバーシティ			T1. 変成岩とテクトニクス 8:45-12:00				岩石	T7. テクトニクス 15:00-17:30		南極		T1. 変成岩とテクトニクス 8:45-12:00			T2. 南極地質 15:00-17:00		
	4	3F	131 (132)						T3. 文化地質学 8:45-12:00				構造 若手	G1. ★ 応用地質		地質学史 懇話会		T3. 文化地質学 8:45-12:00					
	5	3F	132 (210)	T13. 堆積地質学の 最新研究 9:00-12:00					T13. 堆積地質学の 最新研究 8:45-12:00				堆積	T13. ★ 堆積地質		炭酸塩		T16. 地球史 8:45-12:00			T16. 地球史 15:00-17:00		
	6	3F	133 (154)						T6. マグマソース 8:45-12:00				火山	T12. 漂流軽石 15:00-17:30		漂流軽石		G2. 海洋地質 8:45-10:45			G5. G6 ★ 構造地質	G6. 第四紀 15:00-16:30	
	7	3F	134 (154)						T15. 地域地質 9:30-12:00				地域地質 層序合同	T15. 地域地質 15:00-17:15		博物館 生涯教育費		T4. ジオ パーク★			ジオパーク で働く		
			G9. ジェネラル★(地球化学) 10:15-11:15 G3. ジェネラル★(岩石・鉱物・火山) 11:30-12:00 ※表彰式・記念講演会 15:30～/懇親会 18:00～					T5. 原子力と地球化学★ 9:15-10:30 T8. 都市地質学★ 10:45-11:45					G1. ジェネラル★(応用地質) 15:00-16:15 G8. ジェネラル★(地学教育) 16:30-17:00 T13. 堆積地質★ 15:00-16:15 T16. 地球史★ 16:30-17:00					G5. ジェネラル★(構造地質) 11:00-11:30 G6. ジェネラル★(第四紀) 11:30-12:00 T4. ジオパーク★ 11:00-12:00					
ポスター 基盤教育 3号館 1-2F			T10. 岩石・鉱物の変形 / T13. 堆積地質 / T15. 地域地質講座 G. ジェネラル (地域地質, 地学教育, 地球化学) J. ジュニアセッション					T5. 原子力 / T6. マグマソース / T7. テクトニクス / T8. 都市地質 T12. 漂流軽石 / T13. 堆積地質 / T14. 沖縄トラフ / T15. 地域地質講座 T18. 能登半島 / G. ジェネラル (応用地質, 岩石鉱物, 堆積)					T1. 変成岩とテクトニクス / T2. 南極地質 / T3. 文化地質 T9. 九州弧 / T11. 鉱物資源 / T16. 地球史 / T17. 沈み込み帯 G. ジェネラル (古生物, 第四紀, 海洋地質)										
その他			企業展示・販売 (終日: 基盤教育 1号館 124～128) 市民講演会 (13:00-15:00: 会場 山形テルサ) 地質情報展 (山形テルサ; 9/6-8 開催) OR アウトリーチ・ポスター掲示 (山形テルサ)					企業展示・販売 (終日: 基盤教育 1号館 124～128) 地質系業界説明会 (12:00-17:00: 会場 基盤教育 1号館 123,135,136)					企業展示・販売 (終日: 基盤教育 1号館 124～128)										

※会期前 9/7 (土) 学生・若手のための交流会 (16:30-19:00: 会場 山形テルサ)

6

令和6年（2024年）9月5日

やまがた横断国際交流事業：庄内・村山食べ比べ芋煮会 ～農学部留学生サポーターとやまがた留学アンバサダーの合同イベント～

【本件のポイント】

- 山形大学農学部は『留学生サポーター』制度を2022年に設立し、留学生と日本人学生、地域の方々とともに、国際文化交流を積極的に進めています。
- 本イベントは、山形県の魅力や留学生生活を国内外へ発信し、やまがた留学の認知度を高めることを目的とした本県の『やまがた留学アンバサダー』と共同で企画するものです。やまがた留学アンバサダーとの合同企画は今回が初めての試みです。
- 庄内地域と村山地域から本学の日本人学生および外国人留学生と、地域住民（在住外国人の方含む）に参加を呼び掛け、地域を越えた文化交流を図ります。



【概要】

令和6年10月6日（日）に、庄内地域と村山地域の本学の日本人学生および外国人留学生と、地域住民（在住外国人の方含む）の方々を対象に『やまがた横断国際交流事業：庄内・村山食べ比べ芋煮会』を開催します。本企画では本学農学部留学生サポーターと山形県のやまがた留学アンバサダーとの合同イベントとして、やまがたの名物“芋煮”を庄内・村山の異なる味付けで調理から楽しみ、山形の食文化の奥深さを体験します。食体験を通じた日本人学生、外国人留学生および地域の方々との国際交流に加え、【庄内×村山】の文化交流を図り、地域の魅力再発見と、地域理解、国際理解を深めることを目指します。

調理教室の参加者は山形大学 HP 上で9月下旬まで募集を行う予定です。（13時からの芋煮会は申込なしで参加可）

【実施内容】

開催日時：令和6年10月6日（日）芋煮調理教室：11：30～、芋煮会：13：00～受付開始予定（小雨決行）

場所：山形市・馬見ヶ崎川河川敷

参加費：500円/人（当日お支払いください）

対象：山形大学生、地域の方、どなたでも参加可能

定員：芋煮調理教室40名、芋煮会は定員なし（芋煮がなくなるまで）

申込締切日：9月25日（木）（調理教室から参加の場合のみ要申込）

問い合わせ先：鶴岡キャンパス事務部学務課国際室 TEL：0235-28-2847

当日のスケジュール：

11：30～12：00 芋煮調理教室@山形市・馬見ヶ崎川河川敷

※当日の朝、鶴岡・小白川キャンパスからバスで移動（現地集合も可）

13：00～15：00 頃 食べ比べ芋煮会開催 ※芋煮会のみ参加もOK

【今後の展望】

今回の企画により、様々な国から山形に来た留学生、日本各地から入学した日本人大学生、山形の地域住民と、多様なバックグラウンドを持つ人々が対話や協働を通じた活動を経験することで、『日本文化を学ぶ』、『山形の文化を学ぶ』、『山形県外出身者の視点をととして山形の魅力を新たに発見する、再確認する』といった、3者それぞれに利益をもたらすことが期待されます。本学部は「留学生」をキーワードに、地域における国際交流の機会を増やし、地域の国際化促進をサポートしたいと考えています。今回は村山地域にまでフィールドを広げて、本学留学生と日本人学生、地域住民の交流促進に取り組めます。

お問い合わせ

鶴岡キャンパス事務部学務課国際室

TEL 0235-28-2847

メール yu-nogaku-ryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた横断国際交流事業

庄内・村山食べ比べ 芋煮会

日時：10月6日(日)

調理教室：11:30～

芋煮会：13:00～受付開始予定
(小雨決行)

場所：山形市 馬見ヶ崎河川敷



イベント内容

当日の流れ

9:00 鶴岡キャンパス発
11:00 小白川キャンパス発
11:30～12:00 山形市・馬見ヶ崎河川敷にて、芋煮調理教室
※現地集合でも可
13:00～15:00頃 食べ比べ芋煮会開催
※頒布会から参加も可

募集要項

対象：どなたでも参加できます！
友達や家族を誘ってどうぞ！
参加費：500円/人(当日お支払いください)
定員：調理教室40名、
芋煮会は定員なし(芋煮がなくなるまで)

☆鶴岡キャンパスと小白川キャンパスからバスで送迎も可能です！

お問合せ

問い合わせ先：山形大学留学生サポーター
TEL：0235-28-2847
メールアドレス：
intl.supporters.agri.yu@gmail.com

お申し込みはQRコードから→
調理教室から参加の場合のみ要申込
×切 9月25日(水)

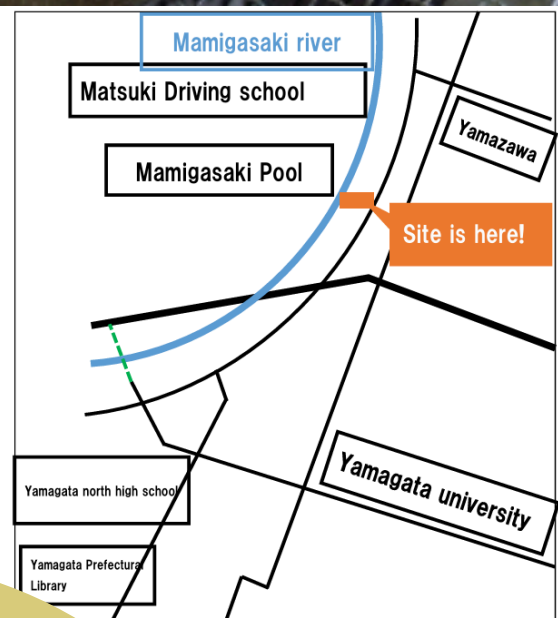
やまがたの名物"芋煮"を庄内・村山の異なる味付けで山形の食文化を楽しみましょう！



企画：山形大学農学部留学生サポーター＆やまがた留学アンバサダー

Yamagata Cross International Exchange Project Shonai・Murayama Taste Comparison Imoni Party

Date and Time : October 6th(Sun)
Cooking Classes : 11:30~
Imoni Party : 13:00~reception open
(Light rain or shine)
Place : Yamagata city
Mamigasaki riverbed



Event Detail

Schedule

9:00 Departure from Tsuruoka campus
11:00 Departure from Tsuruoka campus
11:30~12:00 Imoni cooking class
in Yamagata city Mamigasaki riverbed
※If you participate in the cooking part, you can take
abus from the Tsuruoka or Kojirakawa campus.
Or meet on site possible.
Around 13:00~15:00
Taste Comparison Imoni Party
※You can also join from the Imoni Party.

Contact

Contact : Tsuruoka campus International office
TEL : 0235-28-2847
Email : intl.supporters.agri.yu@gmail.com

Application details

Target : Everyone can participate!
We welcome with your friends or family!

Fee : 500yen/person(Please pay on the day)

Capacity : Cooking class - 40people
Imoni party - Until the Imoni runs out

Please use the QR code to apply.→
You must apply only if you are
joining from a cooking class.

Deadline:

September 25th(Wed)

You can enjoy cooking Yamagata's
specialty "Imoni" with different
seasonings from Shonai and Murayama!



Operated by: International Student Supporters
& Yamagata Study Abroad Ambassador



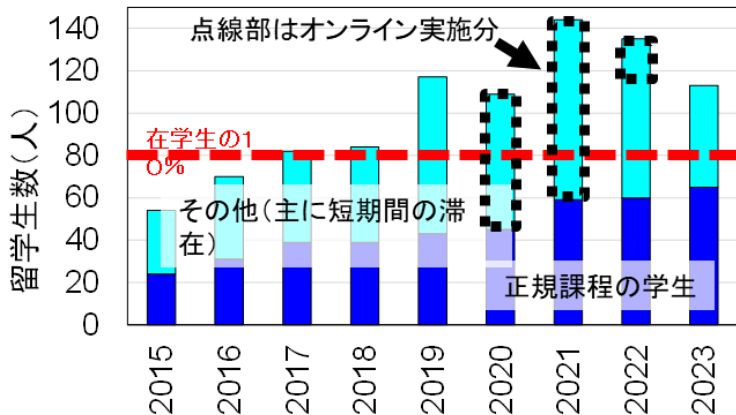
introducing

山形大学農学部

における

国際交流について

山形大学農学部における留学生の受入数



2024年10月時点の留学生数

約100名

山形大学農学部の留学生の出身国



中国、大韓民国、インドネシア、タイ、マレーシア、モンゴル、スペイン、ドイツ、ケニア、モザンビーク、ナイジェリア、スリランカ、ベトナム、カメルーン、ルワンダ、エチオピア、ロシア、ペルー

留学生サポーター設立の経緯

2022年度に実施した留学生向けアンケート
(留学生39名回答) より…

日本人のみんなと
もっと仲良くなりたい

日本文化や
日本料理について
もっと学びたい

自身の出身国の
文化も知ってほしい
双方向の文化交流が
したい

沢山の留学生が在籍して
いるのに、日本人学生、
地域との交流の機会が
少ないのではないかな？

留学生サポーター設立の経緯



2022年12月

農学部

留学生サポーター設立

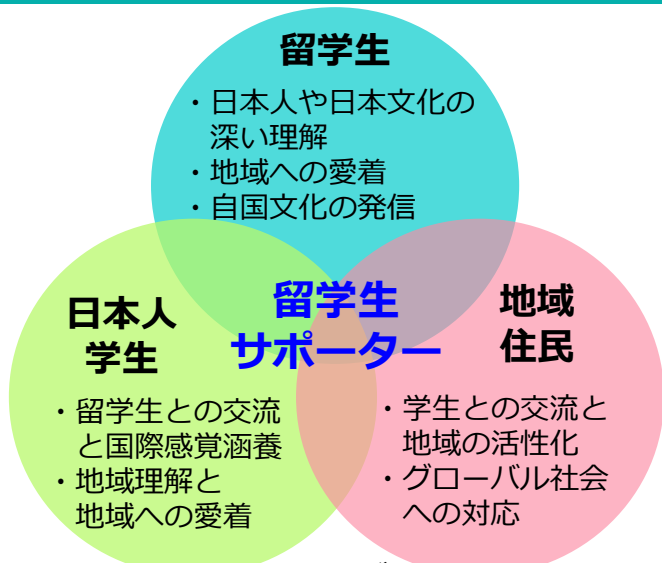
初期メンバーは5名
(2024年9月現在18名)

日本人学生 × 留学生 × 地域
をつなぐ国際交流活動



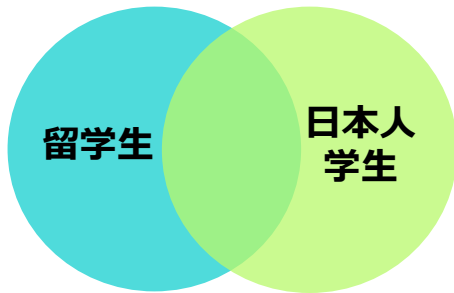
多文化理解と国際交流の土壌を形成

留学生サポーターによる活動のメリット



三者のみんなにメリットがあるWIN-WINの関係

学内でのイベント





留学生と一緒に歌う

留学生サポーターの初回企画

クリスマスライブ



2022.12.23



2023.03.05

クッキングイベント

テーマは
“日本のいつものごはん”

いただきます



涙 の 卒 業 式

帰国する留学生たちのお別れ会



2023.08.27





2023.
10.18

芋煮会



ハ
ル
ル
芋
煮
も
!!



DAY TRIP

to Experience Yamagata Culture



2024.03.21



最上川下り体験と
酒田の街歩き

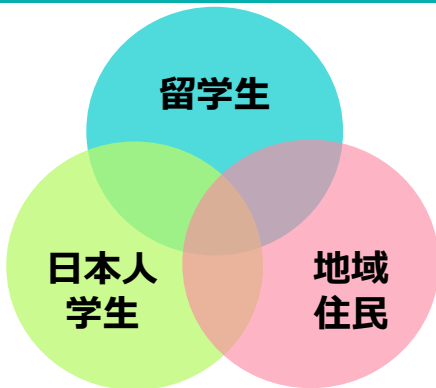


お花見イベント

2024.04.15



地域を巻き込んだイベント



地域と留学生を結ぶ異文化交流DAY

CROSS-CULTURE DAYS

~BETWEEN LOCALS AND
INTERNATIONAL STUDENTS~

【DAY1】2023.6.1

WORLD CULTURAL TOUR WITH WORLD SNACKS

~違いを楽しむ異文化交流、世界のおやつ付き~

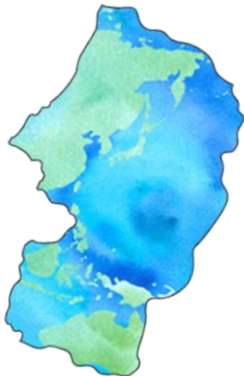


2日間の参加者
53名
(うち地域から
29名)

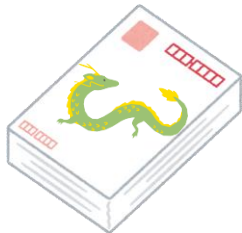
【DAY2】2023.6.3

YUM-YUM PROJECT IN TSURUOKA

~庄内の山菜を採って食べよう~



HAPPY
new year



年賀状イベント



参加者11名
(うち地域から
4名)

2023.12.23

謹賀
新年



年明けイベント

2024.
01.21



お正月の遊びと
お餅つき体験



参加者28名
(うち地域から
13名)





World Cooking Indonesia

6月30日(日) 12:30~16:00



インドネシア留学生が講師となり、
インドネシア料理を学ぶ



参加者30名
(うち地域から
13名)





鶴岡市・三瀬地域とのコラボ企画！

三瀬海岸ワイワイ地引網体験



参加者約50名
(うち地域から35名)



2024年10月6日（日）@馬見ヶ崎河川敷
やまがた横断国際交流事業
庄内・村山食べ比べ芋煮会

主催：

山形大学農学部留学生サポーター&やまがた留学アンバサダー

山大農学部留学生サポーター × やまがた留学アンバサダー 初めての合同企画！

- 山大農学部留学生サポーターの活動も3年目。
庄内地域だけに留まらず、キャンパスの垣根を超えた活動をしたい！
- 新聞から「やまがた留学生アンバサダー」の活動を知り、山形の国際交流と一緒に盛り上げたい！
- 地域の違いも楽しめる“芋煮”を通して交流を深めよう！



昨年の芋煮イベントの様子@山形大学鶴岡キャンパス



ムスリムの学生も多く在籍するため、ハラール使用の芋煮も作りました

庄内・村山食べ比べ芋煮会 概要

- 本学の学生および外国人留学生、地域住民（在住外国人の方を含む）など誰でも参加でき、国際交流を気軽に楽しめるイベントに！
- 山形の名物“芋煮”を庄内・村山の異なる味付けで調理から楽しみ、山形の食の奥深さを体験してもらう！
- 参加者の国際交流に加え、【庄内×村山】の文化交流を図り、地域の魅力再発見と、地域理解、国際理解を深めることを目指す！



庄内・村山食べ比べ芋煮会 実施内容

開催日時：令和6年10月6日（日）

芋煮調理教室：11：30～

芋煮会：13：00～受付開始予定（少雨決行）

場所：山形市・馬見ヶ崎河川敷

参加費：500円/人（当日お支払い）

対象：山形大学生、地域の方、どなたでも参加可能！

定員：芋煮調理教室40名、芋煮会は定員なし（芋煮がなくなるまで）

申込締切日：9月25日（木）★調理教室から参加の場合のみ要申込

当日のスケジュール：

11：30～12：00

芋煮調理教室

13：00～15：00頃

食べ比べ芋煮会開催

庄内・村山食べ比べ芋煮会 背景と今後の展望

多様なバックグラウンドを持つ人々が
対話や協働を通じた活動を経験することで、

『日本文化を学ぶ』

『山形の文化を学ぶ』

『山形県外出身者の視点をとおして山形の魅力を新たに発見する、再確認する』

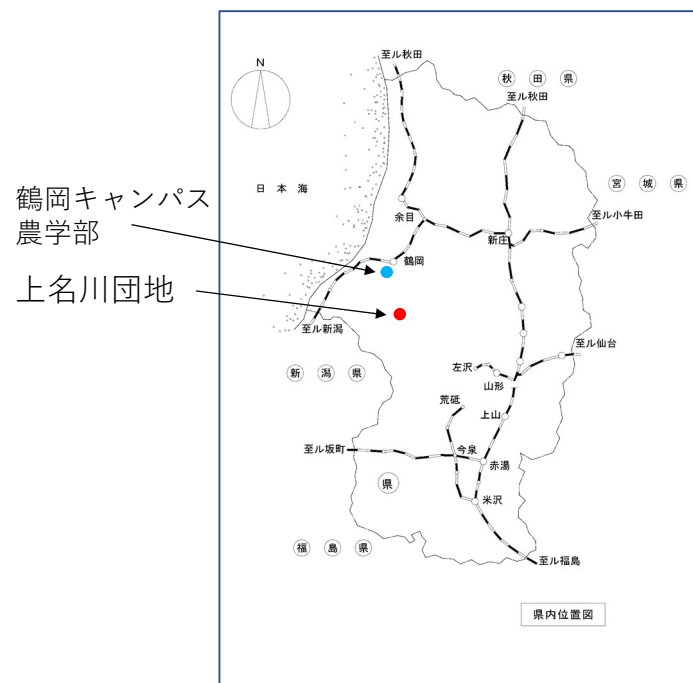
といった、3者それぞれに利益をもたらすことが期待される。

⇒地域における国際交流の機会の増加、地域の国際化促進を目標に！！



令和6年7月25日の大雨による被害状況

(上名川) 農学部附属やまがたフィールド科学センター演習林 林道被害



農学部附属やまがたフィールド科学センター



9/5
学長定例記者会見

被害写真



林道 — 法面崩落



林道 — 土砂流入



林道崩壊 — 路肩崩落



林道崩壊 — 路肩崩落

令和6年(2024年)9月5日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 山形大学開学75周年記念イベントの開催について

山形大学開学75周年を記念して、以下のイベントを開催します。

【一日山形大学 in 仙台「開学75周年特別講演」】

日 時：令和6年9月14日（土）10時30分～12時30分

場 所：ウェスティンホテル仙台（宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1）

講 師：山形大学特任教授・フェロー 城戸淳二 氏

【最上夜学「山形大学開学75周年記念講演会」】

日 時：令和6年10月11日（金）16時00～17時30分

場 所：ニューグランドホテル新庄（山形県新庄市若葉町4-23）

講 師：山形大学学術研究院教授 江成広斗 氏

【山形大学開学75周年記念特別企画 渡辺えり氏講演会】

日 時：令和6年10月25日（金）16時00分～17時30分（15時00分開場）

会 場：山形県生涯学習センター 遊学館ホール（山形市緑町1丁目2-36）

Guest：渡辺えり氏

2. 「第18回寒河江市産学官連携交流会」の開催～AI・デジタル技術とこれからのモノ・コト・ヒトづくり～

山形大学は、地域での産学官連携を一層推進するために、令和6年3月28日に寒河江市、寒河江市技術振興協会、公益財団法人山形大学産業研究所との4者による連携協定を締結しました。4者協定締結後初めての産学官連携交流会を開催します。

日 時：令和6年9月19日（木）13:20-16:15（参加申込期限9月9日）

会 場：寒河江市技術交流プラザ（寒河江市中央工業団地153-1）

講演①「山形大学における工学系A I デザイン研究と人材育成」

山形大学A I デザイン教育研究推進センター センター長

山形大学大学院理工学研究科 情報・エレクトロニクス専攻 教授 安田 宗樹

講演②「山形大学におけるデジタル技術とものづくりの融合の取組

～山形大学DMN（デジタル・マニュファクチャリング・ネットワーク）の紹介～

山形大学インクジェット開発センター センター長 産学連携教授 酒井 真理

3. 社会人向け「地域防災力向上セミナー」Vol.2 を開講します～市指定避難所 である小白川キャンパス内で炊き出し体験を開催～



地域の防災力の向上を目的に、エクステンションサービス推進本部と災害環境科学研究ユニット主催による、社会人を対象とした防災セミナーを開催します。

[日時・期間] 2024年11月1日（金）からオンデマンド講座を配信予定です

2024年11月30日（土）にワークショップを開催します（会場 小白川キャンパス第一体育館前）

[受講料] 5,000円（オンデマンド講座・ワークショップ材料費込み）*支払い手数料は別途、ご負担ください。

4. 『やまだいキッズラボ！2024 秋冬編』を開催します！～小中学生向け STEAM 教育イベント～



山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター（通称 YU★STEAM）主催のイベント「やまだいキッズラボ！2024 秋冬編」を、2024 年 10～12 月に開催します！

『モーションキャプチャ体験！（2024 年 10 月 5 日）』、『カロリーと運動の関係を知ろう！（2024 年 10 月 20 日）』、『四次元宇宙シアターで宇宙の果てへ?!（2024 年 12 月 14 日）』を企画し。お申込みは、公式 HP (<https://yu-steam.amebaownd.com/>) より先着順で、児童 1 名あたり参加料 500 円です。

5. 地域教育文化学部文化創生コース 4 年生による美術作品展「つみき」を開催～これまでの「学び」と「成長」の積み重ねを作品で振り返る～

地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コースでは 9 月 13 日（金）より、東根市公益文化施設まなびあテラスにて美術作品展「つみき」を開催いたします。

「山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コース 美術分野4年作品展『つみき』」

日 時：2024年9月13日（金）～ 9月22日（日）9：00～17：00

場 所：東根市公益文化施設 まなびあテラス 市民ギャラリー

〒999-3730 山形県東根市中央南1丁目7-3

入場料：無料

6. 農業食料工学会第82年年次大会（2024鶴岡大会）開催

農業食料工学会 では第82回年次大会を2024年9月7日(土)～9日(月)の3日間、山形大学農学部で開催することになりました。今回の山形での年次大会は、1998（平成10年）年の第57回大会を山形市で開催以来、26年ぶりの開催で農学部のある鶴岡市では初の実施となります。また、今年1月に発生した能登半島地震の復興に向けた農業機械分野での取り組みについて考えるシンポジウムも予定しています。

ONE DAY
一日

山形大学 仙台

多数の卒業生を輩出している宮城県において、開学75周年を記念して城戸淳二フェローによる特別講演を開催いたします。講演の後には、山形大学農学部附属農場の生産品や山形大学グッズの販売、なんでも相談コーナーのブースが設置されます。本学卒業生と在学生のご家族をはじめ、山形大学に関心のある方すべての方がお申込み可能ですので万障繰り合わせの上、是非ご参加ください。



日時

2024.

9.14^土

第1部 10:30-12:30

第2部 12:30-14:00



会場

ウェスティン
ホテル仙台

グランドボールルーム

〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1
TEL: 022-722-1234



対象者

本学の卒業・修了生、在学生及びそのご家族、山形大学に関心のある方



申込方法

WEBサイトのお申し込みフォームより
必要事項をご記入のうえお申し込みください

<https://forms.office.com/r/6RphXjyQa8>



申込締切

9.10^火

スケジュール

※定員になり次第締め切らせていただきます。

定員
300名

第1部 120分

10:30-12:30

1. 学長あいさつ 山形大学長 玉手 英利

2. 開学75周年記念特別講演 「地方からイノベーションを起こす方法教えます」



山形大学
フェロー・
特任教授
城戸淳二

65歳。専門は有機エレクトロニクス、有機デバイス工学。大阪府出身。1989年、米国・ポリテクニク大学（現ニューヨーク大学）大学院博士課程修了、工学博士。有機EL素子の分野において、新規材料の創製、新規素子構成の提案、製造プロセスの考案など独創的かつ先導的な研究を展開。有機ELの研究・開発の第一人者として、本学を国内外有数の有機エレクトロニクス研究拠点に発展させた中心的な研究者。2013年、紫綬褒章を受章。

3. 理事・副学長あいさつ 山形大学 学生支援担当理事・副学長 伊藤 真知子

第2部 90分

12:30-14:00

【ブース設置】

農学部附属農場
生産品・加工品販売

・りんご（つがる）・リンゴジュース
・トマトピューレ・ブルーベリージャムなど

山形大学グッズ物販

なんでも相談コーナー

お問い合わせ

山形大学エンrollment・マネジメント部学生支援課 / TEL 023-628-4840 / Mail yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：山形大学／協力：山形大学生生活協同組合

75th ANNIVERSARY
YAMAGATA UNIVERSITY



野生動物と共存するための科学

山形大学開学七十五周年記念講演会

第一〇四回 最上夜学

つなぐちから。山形大学

共有・共創・共生による持続可能な幸福社会の実現

講演
主旨

2024年、山形大学は開学75周年を迎えるにあたり、「地域に生き、地域を活かし、地域を創る」を掲げ、地域に愛され、地域と主に発展する大学を目指し、75周年記念事業を教職員、学生、OB・OG、地域の皆様と共に展開していきます。

山形大学開学75周年記念事業の一つとして、高等教育機関の無かった最上地域の産学連携の契機作りの場として始まった「最上夜学」と連携し、「山形大学開学75周年記念講演会」を開催します。

近年社会問題となっているクマやイノシシなどの野生動物の被害は地域の切実な問題となっています。一方で、生物多様性の維持という21世紀の地球規模的な課題で考えれば、野生動物と人との共生は避けて通れないテーマです。

本講演では、野生動物と共存するための科学をテーマにお話をいただきます。



山形大学 学長

玉手 英利

TAMATE Hidetoshi

日時

2024.10.11

〔FRI〕

16:00～

講演会

17:30～

交流会

18:30

閉会

会場

ニューグランドホテル新庄
3F 末広の間

(〒996-0025 新庄市若葉町4-23)

※駐車場：無料100台

開催
形式

対面

定員

70名程度

対象

山形県内の個人（高校生以上）、
団体、事業者等

講師

山形大学 学術研究院（農学部主担当）
教授

江成 広斗 氏

ENARI Hiroto

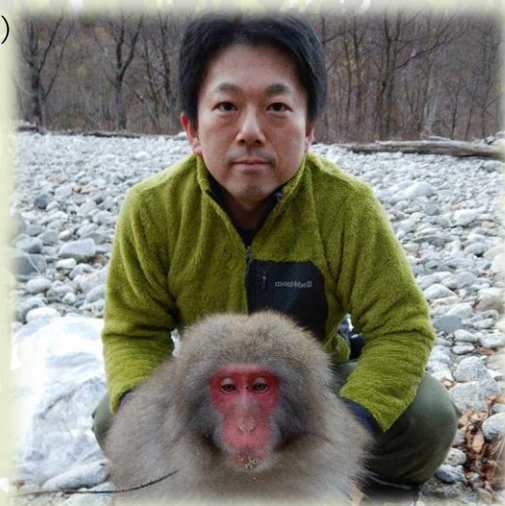
PROFILE

2007年 京都大学霊長類研究所 日本学術振興会特別研究員PD

2009年 宇都宮大学農学部 特任助教

2013年 山形大学農学部 准教授

2021年 山形大学学術研究院（農学部主担当） 教授



申込
方法

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

<https://forms.gle/oQmyqviHyh4RJBwJ6>



参加費

無料

（交流会参加の場合は3,000円）

【主催】 山形大学、山形県最上総合支庁
【共催】 公益財団法人 山形大学産業研究所
【協賛】 産学官連携やまがたネットワーク



山形大学
Yamagata University



山形大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

最上総合支庁 地域産業経済課 行

第104回最上夜学
山形大学開学75周年記念講演会

「野生動物と共存するための科学」

こちらから
お申込み
可能です。



参加申込書

企業名：_____

ご担当者：

ご連絡先（TEL：_____）

E-mail：

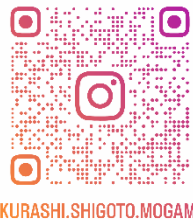
	役 職	氏 名	交 流 会
1			参加 ・ 不参加
2			参加 ・ 不参加
3			参加 ・ 不参加

その他ご質問、連絡事項がありましたらご記入ください

※本申込書にご記入いただきました個人情報につきましては、本事業実施の目的以外には使用いたしません。

【問い合わせ先】
山形県最上総合支庁 地域産業経済課 （担当：高橋） ☎0233-29-1307 ✉ymogamisangyo@pref.yamagata.jp

主催：山形大学、山形県最上総合支庁
共催：公益財団法人 山形大学産業研究所
協賛：産学官連携やまがたネットワーク



イベント情報なども発信していきますので、
ぜひ フォロー＆♡いいね お願いします！

山形大学は2024年、
開学75周年を迎えます

山形大学開学 75 周年記念特別企画

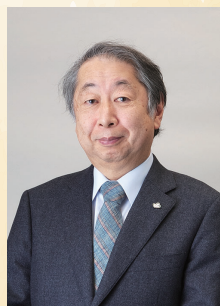
つながちから。
山形大学

共育・共創・共生による
持続可能な幸福社会の実現

渡辺えり氏 講演会

「ふるさと山形への想い、夢見る力」

開催日時 令和 6 年 10 月 25 日 (金)
16:00 ~ 17:30 (15:00 開場)



山形大学 学長
玉手 英利

趣旨

山形大学創立 75 周年記念事業のメインイベントとして、劇作家・俳優の渡辺えり氏（山形市出身）をお招きし、ふるさと山形での思い出や山形の将来への想いを、お話いただきます。
また、山形大学演劇サークル「劇団めざましどけい」の学生との対談では、これまでの活動の軌跡、そして舞台への想いを、山形大学長との対談では、山形大学への印象や期待などを、お話いただきます。

会場

山形県生涯学習センター 遊学館ホール（2 階）
山形県山形市緑町 1 丁目 2-36

定員人数

300 名 ※人数に達し次第締め切らせていただきます。

参加費

無料

申込方法

下記 URL もしくは QR コードからお申込みください。

<https://foms.office.com/r/Xc4GGdtsAZ>



Guest 紹介



渡辺えり氏

劇作家・演出家・俳優・歌手。山形市出身。
舞台芸術学院、青俳演出部を経て、1978 年に「劇団 300 (さんじゅうまる)」を旗揚げ。劇団では作・演出・主演の三役をつとめる。
劇団解散後の現在は、おふいす 300 主宰として、様々な役者やクリエーターとプロデュース公演を行っている。
1983 年『ゲゲゲのげ』で岸田國士戯曲賞、1995 年『忠臣蔵外伝 四谷怪談』1997 年『shall we ダンス?』で日本アカデミー賞優秀助演女優賞など俳優としても多数の受賞歴をもつ。

主催・お問合せ先

国立大学法人 山形大学
開学 75 周年記念事業事務局（総務部総務課）
TEL : 023-628-4006
E-mail : yu-somsomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/anniversary75/>



令和6年（2024年）9月5日

「第18回寒河江市産学官連携交流会」の開催 ～AI・デジタル技術とこれからのモノ・コト・ヒトづくり～

【本件のポイント】

- 令和6年3月に、寒河江市、寒河江市技術振興協会、山形大学、山形大学産業研究所の4者による協力協定を締結。この締結後初めてとなる産学官連携交流会を開催する。
- 協定締結により、初めて寒河江市内の各企業を対象とした経営課題アンケートを実施。そのアンケート結果を踏まえて今回の産学官連携交流会のテーマを選定した。
- 山形大学の講師陣が、本学が取り組むAIデザイン研究と人材育成とデジタル技術とものづくり融合の取組について、わかりやすく解説。



【概要】

山形大学は、地域での産学官連携を一層推進するために、令和6年3月28日に寒河江市、寒河江市技術振興協会、公益財団法人山形大学産業研究所との4者による連携協定を締結した。寒河江市技術振興協会と山形大学工学部とは、これまでも技術交流を進めてきたが、4者協定締結後初めての産学官連携交流会となる。

協定締結を受けて、山形大学が寒河江市技術振興協会の協力を得て、各企業を対象とした経営課題アンケートを実施。アンケートでは、モノづくり（生産性向上）、ヒトづくり（人材確保と育成）、コトづくり（新事業展開）に関して「デジタル時代とどう向き合っていくか」について、多くの企業が高い関心を持っていた。

そこで、これらのことに関心あるすべての企業人に向けて、山形大学が取り組むAIデザイン研究と人材育成、デジタル技術とものづくり融合の取組を紹介する。

【事業概要】※詳細は別紙開催チラシを参照ください

1. 日時：令和6年9月19日（木）13:20-16:15（参加申込期限9月9日）
 2. 会場：寒河江市技術交流プラザ（寒河江市中央工業団地153-1）
 3. 講演①「山形大学における工学系AIデザイン研究と人材育成」
山形大学AIデザイン教育研究推進センター センター長
山形大学大学院理工学研究科 情報・エレクトロニクス専攻 教授 安田 宗樹
- 講演②「山形大学におけるデジタル技術とものづくりの融合の取組
～山形大学DMN（デジタル・マニュファクチャリング・ネットワーク）の紹介～
山形大学インクジェット開発センター センター長 産学連携教授 酒井 真理

【今後の展望】

アンケート調査により明らかになった上記以外の技術・経営ニーズに対して、今後、順次、産学官連携交流会等を通じて、山形大学の研究シーズを展開していく。

お問い合わせ

研究・産学連携推進本部 副本部長 学術研究院 教授 小野 浩幸
TEL 0238-26-3031 メール ono@yz.yamagata-u.ac.jp
公益財団法人 山形大学産業研究所 事務局長 高橋 由紀子
TEL 0238-26-8360 メール info@sanken-yz.com

令和6年度

第18回 寒河江市産学官連携交流会

～AI・デジタル技術とこれからのモノ・コト・ヒトづくり～

- AI・デジタル技術が今後の仕事にどうかかわってくるのか -
関心のあるすべての人にお届けする山形大学からのメッセージ

令和6年（2024年）3月28日に、寒河江市、寒河江市技術振興協会、山形大学、山形大学産業研究所の4者による協力協定が締結されました。その先駆けとして実施された技術振興協会員企業への経営課題アンケート調査では、モノづくり（生産性向上）、ヒトづくり（人材確保と育成）、コトづくり（新事業展開）に関して「デジタル時代とどう向き合っていくか」について、多くの企業が高い関心を持っていることがわかりました。そこで、山形大学が取り組む**AIデザイン研究と人材育成、デジタル技術とものづくり融合**の取組について、各分野において日本のトップクラスで活躍する講師に、わかりやすく解説していただきます。

「プログラム」

□開会式（13：20～13：35）

□山形大学の産学連携～山形大学産業研究所の紹介を兼ねて～（13：35～14：05）

山形大学産業研究所理事長

山形大学大学院有機材料システム研究科長

教授 伊藤 浩志

□技術振興協会アンケートの結果と山形県内の企業ニーズ（14：05～14：20）

山形大学研究・産学連携推進本部副本部長

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻長

教授 小野 浩幸

講演

□講演Ⅰ（14：25～15：15）

山形大学における工学系AIデザイン研究と人材育成

山形大学AIデザイン教育研究推進センター センター長

山形大学大学院理工学研究科情報・エレクトロニクス専攻

教授 安田 宗樹

□講演Ⅱ（15：25～16：15）

山形大学におけるデジタル技術とものづくりの融合の取組

～山形大学DMN（デジタル・マニファクチャリング・ネットワーク）の紹介～

山形大学インクジェット開発センター センター長

産学連携教授 酒井 真理

2024年 9月19日（木）

講演：13:20-16:15

交流会：16:20-17:00

会場：寒河江市技術交流プラザ 第2研修室

寒河江市中央工業団地153-1

定員：先着80名（参加無料）

※途中の入退場自由

締切

9/9

セミナー終了後にお茶とお菓子による
名刺交換・交流会を予定しています

主催：寒河江市

寒河江市技術振興協会

山形大学研究・産学連携推進本部

公益財団法人 山形大学産業研究所

共催：寒河江市商工会

寒河江中央工業団地振興協会

後援：一般社団法人米沢工業会（山形大学工学部同窓会）

問合せ先：寒河江市技術振興協会

（電話）0237-86-1991

（メール）smcp-1@ic-net.or.jp

※裏面の申込書をご記入の上、FAXでお申し込みください

第18回 寒河江市産学官連携交流会 参加申込書

申込締切
9月9日(月)

寒河江市技術振興協会 宛

【FAX】0237-86-1992 (添書不要)

事業所名

ご連絡先：ご担当者名

電話番号

職名（部署名・役職等）	氏名	参加希望プログラム 参加を希望するプログラムに✓をいれてください
		☐ 大学の産学連携
		☐ アンケートの結果と企業ニーズ
		☐ 講演Ⅰ
		☐ 講演Ⅱ
		☐ 交流会
		☐ 大学の産学連携
		☐ アンケートの結果と企業ニーズ
		☐ 講演Ⅰ
		☐ 講演Ⅱ
		☐ 交流会
		☐ 大学の産学連携
		☐ アンケートの結果と企業ニーズ
		☐ 講演Ⅰ
		☐ 講演Ⅱ
		☐ 交流会
		☐ 大学の産学連携
		☐ アンケートの結果と企業ニーズ
		☐ 講演Ⅰ
		☐ 講演Ⅱ
		☐ 交流会

(注意)

- ・1社何名でも参加可能です
- ・お申込受付は先着順となります。定員になり次第、締め切りますのでお早めにお申し込みください

PRESS RELEASE

令和6年（2024年）9月5日

社会人向け「地域防災力向上セミナー」Vol.2を開講します ～市指定避難所である小白川キャンパス内で炊き出し体験を開催～

【本件のポイント】

- 地域の防災力の向上を目的に、エクステンションサービス推進本部と災害環境科学研究ユニットが主催する、社会人を対象とした防災セミナーです。
- 自宅や職場から気軽に何度でも受講できるオンライン講座では、山形県の例をもとに災害について学ぶほか、防災や加工食品の活用への理解を深めます。
- 11月30日には山形市の指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている山形大学小白川キャンパス体育館前を会場とした、炊き出し体験のワークショップを行います。

【概要】

近年、災害が激甚化し、その頻度も高まりつつあるなか、地域住民の自助・共助による防災活動がより一層もとめられています。山形大学エクステンションサービス推進本部と災害環境科学研究ユニットでは、地域の防災力向上を目的とした社会人向けセミナーを開講します。オンデマンド講座で専門性に基づく最先端の災害発生メカニズムや防災の心構え、加工食品の活用についての理解を深めた後、体験型の炊き出し体験・避難所についてのワークショップを行うことで、実践的な地域防災力の構築を目指します。地域の防災について、山形大学で一緒に考えてみませんか。



【講座の構成】 ※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

[オンライン] 2024年11月配信予定

<第1回> 地震と震災～現象としての地震・災害としての地震～

講師 | 石瀬素子 講師（理学部 担当/専門 地震学）

<第2回> 山形県の活断層と地震活動

<第3回> 山形県の水害・土砂災害

講師 | 本山功教授（理学部 担当/専門 地質学・古生物学）

<第4回> 歴史から学ぶ山形の災害における「食」

講師 | 石黒志保 講師（人文社会科学部 担当/専門 歴史学）

<第5回> 被災路の食生活の現状と課題

講師 | 石垣和恵 教授（地域教育文化学部 担当/専門 家庭科教育学）

[ワークショップ]

当日集合場所：山形大学小白川キャンパス 共育・共創未来センター

◇被災生活と避難所

講師 | 熊谷誠 講師（地域教育文化学部 担当/専門 地理学、社会安全システム科学、防災教育）

◇炊き出し訓練

講師 | 石垣和恵教授・熊谷誠 講師

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【受講者の方への注意事項】

- ・炊き出しカマドやテントなど、重い物を運搬するなどの実際に避難所の設営準備に関わる作業を行います。ご体調などは、各自でご判断ください。
- ・大鍋料理（村山風いも煮を予定しています）を行いますので、エプロンの着用や汚れても良い服装でお越しください。
- ・食物アレルギーなどある方は、事前にお申し出ください。

【受講いただきたい対象】

- ・防災・減災に関心がある市民の方
- ・自治会などの避難所運営担当者の方
- ・山形県防災土養成研修講座受講者ならびに修了者の方

【講座の概要】 ※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

[日時・期間] 2024年11月1日（金）からオンデマンド講座を配信予定です
2024年11月30日（土）にワークショップを開催します

[受講料] 5,000円（オンデマンド講座・ワークショップ材料費込み）
*支払い手数料は別途、ご負担ください。

[対象] 一般（高校生以上）

[定員] 20名

[詳細・申込] <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/-vol2.html>



【主催】 山形大学エクステンションサービス推進本部
山形大学災害環境科学研究ユニット

【後援】 山形県
山形市



【協力】 一般社団法人 日本即席食品工業協会

【エクステンションサービス推進本部について】

地域社会のニーズに基づき、大学の幅広い知見を生かした地域社会のための教育を一元的に提供する新組織として、2020年8月1日に発足。社会人のスキルアップや、人生100年時代に需要が高まる生涯教育など、各世代が求める学びの機会をオーダーメイド教育プログラムとして提供していくことを目的としています。

本学が保有する様々な領域の知見を活用し、社会人向けオリジナル講座「エクステンションぶらす」や、全40コマのオンライン講座「多文化共生スキルアップ講座」などを企画してきました。

■山形大学エクステンションサービス推進本部 HP <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp>

【山形大学災害環境科学研究ユニットについて】

山形大学認定研究所として2021年3月1日に開所。山形県全域の自然災害・自然環境をテーマにした複数の専門分野にまたがる認定研究所は本学初です。山形県には、日本百名山にも名を連ねる数々の名峰、日本三大急流の一つ・最上川、奇岩に建立された名勝・立石寺など、自然の魅力に溢れています。一方で、近年では山形県沖地震や豪雨による最上川氾濫が発生し、今後も風水害、火山噴火、内陸直下型地震、日本海の津波など安全を脅かす種

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

も尽きません。同ユニットでは、山形県の自然災害と自然環境の特性を探究し、高度な知識と防災に資する情報を地域へ発信するための拠点を形成していきます。

■山形大学災害環境科学研究ユニット HP <https://yu-rcned.amebaownd.com/>

お問い合わせ

エクステンションサービス推進本部(石黒・大木)

TEL：023-628-4779 メール：yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

YEX Yamagata University
Extension service
organization

地域防災力向上セミナー

VOL.2 炊き出し体験ワークショップ

近年、災害が激甚化し、その頻度も高まりつつあるなか、地域住民の自助・共助による防災活動がより一層もとめられています。山形大学エクステンションサービス推進本部と災害環境科学研究ユニットでは、地域の防災力向上を目的とした社会人向けセミナーを開講します。オンデマンド講座で専門性に基づく最先端の災害発生メカニズムや防災の心構え、被災時の食生活についての理解を深めた後、炊き出し体験ワークショップを行うことで、実践的な地域防災力の構築を目指します。地域の防災について、山形大学で一緒に考えてみませんか。

講座

オンライン配信

全5回

2024年11月配信

WS

ワークショップ

11/30 土

13:00～16:30

オンライン講座

オンデマンド配信

※各回60分の講座です（11/1～配信予定、昨年度と一部重複する講座があります。）

第1回 地震と震災 ～現象としての地震・災害としての地震～

◆講師 | 石瀬素子 講師（理学部 主担当 / 専門 地震学）

第2回 山形県の活断層と地震活動

第3回 山形県の水害・土砂災害

◆講師 | 本山功 教授（理学部 主担当 / 専門 地質学・古生物学）
第2・3回は、昨年度の講座内容と重複します

第4回 歴史から学ぶ山形の災害における「食」

◆講師 | 石黒志保 講師（人文社会科学部 主担当 / 専門 歴史学）

第5回 被災時の食生活の現状と課題

◆講師 | 石垣和恵 教授（地域教育文化学部 主担当 / 専門 家庭科教育学）

対象

- ◎一般（高校生以上）
- ◎防災・減災に関心がある市民の方
- ◎自治会などの避難所運営担当者の方
- ◎山形県防災士養成研修講座受講者ならびに修了者の方

ワークショップ

会場 | 山形大学小白川キャンパス 第一体育館前
集合場所 | 同キャンパス共育・共創みらいセンター集合

※テント設置、炊き出し準備、いも煮の調理を行います。
椅子、机、テントや大鍋など重い物の運搬や、大鍋での調理をしますので、汚れてもよい服装でお越しください。

13:00-13:30

被災生活と避難所

◆講師 | 熊谷誠 講師（地域教育文化学部 主担当）

13:30-16:00

炊き出し体験

◆講師 | 石垣和恵 教授

受講料

5,000 円

※支払手数料別
※講座受講料＆ワークショップ材料費込

定員

20 名（先着順）

申込方法

下記の QR コード（エクステンションサービス推進本部のホームページ）からお申込みください。（定員になり次第終了）

YEX HP

<https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp/-vol2.html>

主催



山形大学災害環境科学研究ユニット

YEX

Yamagata University
Extension service
organization

後援

山形県
山形市

協力



あるとホッ、
知るとホッ。
一般社団法人 日本即席食品工業協会



お申し込みはこちら

オンライン講座

※ 11月1日より配信予定

第1回 地震と震災 ～現象としての地震・災害としての地震～

講師 石瀬素子
(山形大学理学部)

どこで、どのような地震が起こり、どのような災害に備えればいいのか？この講座では、過去に我が国で発生した3大地震と、これらの原因となった地震現象について解説します。過去の地震と災害の特徴の理解を通して、来るべき地震と震災を正しく恐れ、適切な備えに繋がっていきましょう。

第2回 山形県の活断層と地震活動

講師 本山功
(山形大学理学部)

2019年6月に山形県沖の日本海で地震が発生し、鶴岡市で震度6弱の揺れが観測されました。このほかにも山形県内には多数の活断層が存在し、それらは東北地方で最も発生確率が高いとされています。身近な地震のリスクについて解説します。

* 昨年度の講座内容と重複します

第3回 山形県の水害・土砂災害

～令和4年の豪雨災害を例に～

講師 本山功
(山形大学理学部)

山形県南部における令和4年8月の豪雨は、線状降水帯の発生や、警戒レベル5の大雨特別警報の発令など、山形県民が初めて経験する記録的なものになりました。飯豊町における災害の特徴と原因や今後の対策について解説します。

* 昨年度の講座内容と重複します

第4回 歴史から学ぶ山形の災害と「食」

講師 石黒志保
(山形大学人文社会科学部)

これまで山形ではどのような災害があったのでしょうか。また災害の経験を通じて、どのような備えをしてきたのでしょうか。江戸時代から現代に至るまでの、山形地域での災害への備えを「食」に注目して、解説します。今日、伝統食や郷土料理と言われるものは、先人たちの「備え」でもありました。

第5回 被災時の食生活の現状と課題

講師 石垣和恵
(山形大学地域教育文化学部)

被災時の食生活の現状と課題を過去の事例から解説します。自治体によって公的備えは多様です。最寄りの指定避難所の食糧備蓄は、何がどれくらいかを知っていますか。公的備蓄の事例を知り、自助の食料備蓄と共助の炊き出しに備えましょう。

ワークショップ



日時 | 11月30日(土) 13:00～16:30(予定)

会場 | 山形大学小白川キャンパス 第一体育館前

集合場所 | 同キャンパス 共育・共創みらいセンター

◆ 炊き出し体験 | テント設営・大鍋調理

共助の炊き出しは、屋内調理可能な場合やカマドに早変わりできる薪を燃やせるベンチタイプのものを使うなど、多様な方法があります。今回は山形大学備品の炊き出しカマドの組み立てと大鍋調理を体験します。また、自助の食生活の事例として、カセットコンロを熱源とするパック調理を体験します。

プログラム

13:00-13:30

被災生活と避難所

講師 | 熊谷誠 講師 (山形大学地域教育文化学部)

13:30-16:00

炊き出し体験

講師 | 石垣和恵 教授 (山形大学地域教育文化学部)

13:30-13:50

参加者自己紹介と炊き出し活動説明

13:50-14:30

カマド設置、テント設営、長机搬入など

14:30-15:30

調理、試食

15:30-16:00

片付け

16:00-16:30

振り返り・講評

注意事項

- ◆ 炊き出しカマドやテントなど、重い物を運搬するなどの実際に避難所の設営準備に関わる作業を行います。ご体調などは各自でご判断下さい。
- ◆ 大鍋料理(村山風いも煮を予定しています)を行いますので、エプロンの着用や、もしくは汚れてもよい服装でお越しください。
- ◆ 食物アレルギーなどある方は、事前にお申し出ください。

お問い合わせ

YEX Yamagata University
Extension service
organization

山形大学エクステンションサービス推進本部

〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12 山形大学小白川キャンパス

☎ 023-628-4779

✉ yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



PRESS RELEASE

令和6年（2024年）9月5日

『やまだいキッズラボ！2024秋冬編』を開催します！ ～小中学生向けSTEAM教育イベント～

【本件のポイント】

- 2024年10～12月に、主に小中学生を対象とした『やまだいキッズラボ！2024秋冬編』を開催します。
(高校生も対象に含まれる回も有。)
- 今年度開催した、やまだいキッズラボ！2024春夏編では、申込開始15分で満員！キャンセル待ち100人を超えるほどのプログラムもあり、昨年度同様に大盛況でした。子どもたちのみならず、保護者の皆様からも「また参加したい！」とお声をいただき、2024秋冬編はまた異なる魅力的プログラムを企画しました。
- 2024秋冬編では、『モーションキャプチャ体験！（2024年10月5日）』、『カロリーと運動の関係を知ろう！（2024年10月20日）』、『四次元宇宙シアターで宇宙の果てへ?!（2024年12月14日）』、を実施します。
- 申込は先着順（各回15名）で、児童1人あたり500円です（各回で対象学年が異なります）。場所は小白川キャンパス共育・共創みらいセンター及び理学部棟で、保護者の観覧も可能です。
- 申込は、HP（<https://yu-steam.amebaownd.com/>）をご覧ください！



【概要】

山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター（通称 YU★STEAM）主催のイベント「やまだいキッズラボ！2024秋冬編」が、2024年10～12月に開催されます！春夏編では開始15分で満員、キャンセル待ちが100人越えの大人気プログラムです。2024秋冬編は、『モーションキャプチャ体験！（2024年10月5日）』、『カロリーと運動の関係を知ろう！（2024年10月20日）』、『四次元宇宙シアターで宇宙の果てへ?!（2024年12月14日）』を企画しました。お申込みは、公式HP（<https://yu-steam.amebaownd.com/>）より先着順で、児童1名あたり参加料500円です。面白い企画を準備しておりますので、皆様奮ってご参加ください！

【YU★STEAMの今後の活動予定】

やまだいキッズラボ!2025, モバイルキッズケミラボ
ヤマガタSTEMアカデミー, 小中高校の探究学習サポート



※用語解説

1. STEAM教育：2019年5月より文部科学省が推進している教育。「Science・Technology・Engineering・Art・Mathematics」等の各教科での学習を実社会での問題発見・課題解決に生かしていくための分野横断的な教育です。

【お申込みは公式HPから→】



お問い合わせ

地域共創 STEAM 教育推進センター（YU★STEAM）
TEL 023-628-4506（SCITA センター内）
メール yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



やまだい キッズラボ

～ 2024秋冬編 ～

10/5 (土)

モーションキャプチャ体験！

10/20 (日)

カロリーと運動の関係を知ろう！

12/14 (土)

四次元宇宙シアターで宇宙の果てへ?!



YU★STEAM
公式キャラクター
虹のワック



お問い合わせ先

山形大学地域共創STEAM教育推進センター (YU★STEAM)

☎ 023-628-4506 (平日10時～16時)

✉ yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

🏠 <https://yu-steam.amebaownd.com/>

お申し込みは公式HPから↓

受付は先着順！

参加料は500円！

詳細は裏面へ！



やまだいキッズラボ! スケジュール

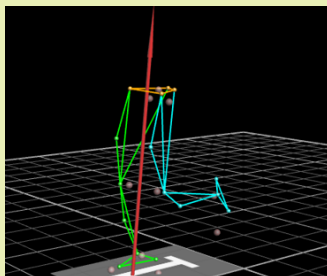
スポーツフォームを見える化！？ モーションキャプチャ体験！

ヒトの動きをデータ化し、コンピュータに取り込むモーションキャプチャ。
近くで見て、触れて、考えることで、スポーツのコツが見えてくるかも！？
モーションキャプチャでスポーツの動きを調べる面白さを体験しよう！

▶日時: **2024年10月5日(土)**

午前(9時30分～11時30分) or 午後(13時00分～15時00分)
(午前午後は同じ内容です。)

- ▶場所: 山形大学共育・共創みらいセンター
- ▶講師: 井上 功一郎 (山形大学地域教育文化学部)
- ▶対象: 小学5年生～中学3年生
- ▶保護者参加: 観覧可能
- ▶定員: 各回15名 (先着順)
- ▶料金: 500円 (児童1人あたり)
- ▶受付期間: 9月12日(木)12:30～9月26日(木)12:30



食べても太らない！？

1番カロリーを消費する運動を探せ！

みんなが大好きなお菓子のカロリーを消費するには、どのくらい運動したらいいのかわかる？？実際に心拍数を測りながら体を動かして、1番カロリーを消費する運動を探そう！

▶日時: **2024年10月20日(日)**

午前(10時00分～12時00分) or 午後(13時30分～15時30分)
(午前午後は同じ内容です。)

- ▶場所: 山形大学共育・共創みらいセンター
- ▶講師: 清水 香 (山形大学地域教育文化学部)
- ▶対象: 小学3年生～中学3年生
- ▶保護者参加: 観覧可能
- ▶定員: 各回15名 (先着順)
- ▶料金: 500円 (児童1人あたり)
- ▶受付期間: 9月26日(木)12:30～10月10日(木)12:30



四次元宇宙シアターで宇宙の果てへ？！

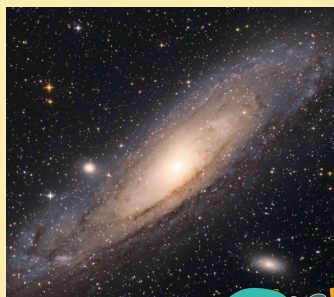
望遠鏡を使って天体を探そう！

「四次元宇宙シアター」を使って、壮大な宇宙の旅にレッツゴー!!
宇宙を学ぶのには欠かせない望遠鏡を使ったレクリエーションも開催します！

▶日時: **2024年12月14日(土)**

午前(10時00分～12時00分) or 午後(14時00分～16時00分)
(午前午後は同じ内容です。)

- ▶場所: 山形大学理学部棟1号館, 3号館
- ▶講師: 中森 健之 (山形大学理学部)
- ▶対象: 小学5年生～高校生
- ▶保護者参加: 観覧可能
- ▶定員: 各回15名 (先着順)
- ▶料金: 500円 (児童1人あたり)
- ▶受付期間: 11月21日(木)12:30～12月5日(木)12:30
(※講座内容が一部変更となる可能性があります。)



お申込みは
公式HPから



◆ご参加にあたって◆

- ・公式HPよりお申込みください。(先着順)
- ・写真利用及び実施後のアンケート記入へご協力ください。
- ・集合場所や持ち物等は参加者に後日ご連絡します。(2日前までに届かない場合はお問合せください)
- ・駐車場はございませんので近くのコインパーキングをご利用ください。
(送迎に関しましてはロータリーへの一時入構が可能です)

令和6年（2024年）9月5日

文化創生コース4年生による美術作品展「つみき」を開催 ～これまでの「学び」と「成長」の積み重ねを作品で振り返る～

【本件のポイント】

- 地域教育文化学部文化創生コースの美術系研究室に所属する4年生7名による美術作品展を開催。
- 今年度のポスターは作品展のテーマである「つみき」をモチーフにしたデザイン。早水京華（地域教育文化学部4年）が制作。
- 1年次から現在までに取り組んだ授業課題作品や自主制作作品など、これまでの「学び」と「成長」の積み重ねを感じられるような作品を展示。



【概要】

山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コースでは9月13日（金）より、東根市公益文化施設まなびあテラスにて美術作品展「つみき」を開催いたします。

当作品展では、美術系研究室に所属する4年生7名が1年次から現在までに取り組んできた授業課題作品に加え、授業外で制作した自主制作作品を展示する予定です。特に授業課題作品は、絵画・彫刻・デザインなどの幅広い分野の作品を展示し、私たちがこれまでの大学生活を通して経験してきたこと、そしてそこから得た「学び」と「成長」の積み重ねを感じられる内容となっております。また、自主制作作品からは授業課題作品では見られない、メンバーそれぞれが持つ個性や魅力をより感じていただけたと思います。

（当作品展は、地域教育文化学部と東根市公益文化施設まなびあテラスとの連携協定に基づく事業の一環として開催いたします。）

【開催情報】

「山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コース 美術分野4年作品展『つみき』」

日 時：2024年9月13日（金）～9月22日（日）9：00～17：00

場 所：東根市公益文化施設 まなびあテラス 市民ギャラリー

〒999-3730 山形県東根市中央南1丁目7-3

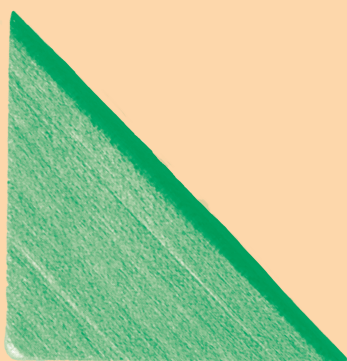
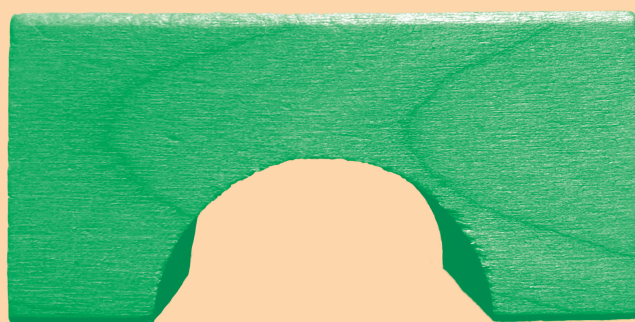
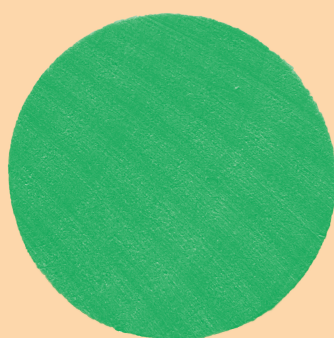
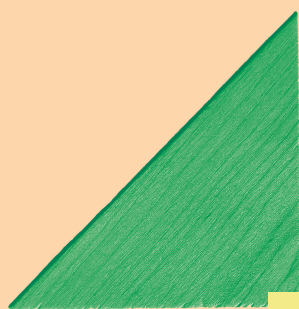
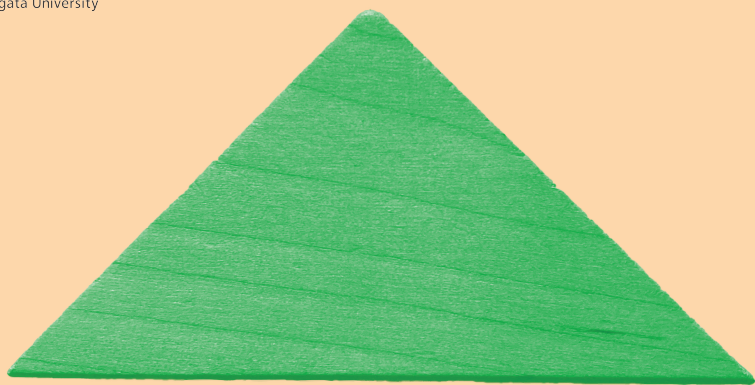
入場料：無料

X（旧 Twitter）》 [@yamadai_sotuten](https://twitter.com/yamadai_sotuten)

Instagram》 [@yamadai_sotuten](https://www.instagram.com/yamadai_sotuten)

お問い合わせ

山形大学 地域教育文化学部 文化創生コース
山形大学卒業・修了研究作品展 2025 実行委員会
メール yamagatauniv.art@gmail.com



東根市公益文化施設
まなびあテラス市民ギャラリー
9月13日(金) - 9月22日(日)

9時00分 - 17時00分

入場無料



令和6年（2024年）9月5日

農業食料工学会第82年年次大会（2024鶴岡大会）開催

【本件のポイント】

- 農学部鶴岡キャンパスで表記大会を9/7-9に開催します（山形大学農学部・鶴岡市後援）
- 農業食料工学会は農業機械系の国内有数の学会です。本大会には国内外から約250名の参加者が見込まれます。講演数は全163課題（オーガナイズドセッション：86課題、口頭：52課題、ポスター25課題）の発表に加え、9月8日には「能登半島農業の復興に向けた農業機械分野の取り組み」についてのシンポジウムも開催されます。



【概要】

農業食料工学会では第82回年次大会を2024年9月7日(土)～9日(月)の3日間、山形大学農学部で開催することになりました。今回の山形での年次大会は、1998（平成10年）年の第57回大会を山形市で開催以来、26年ぶりの開催で農学部のある鶴岡市では初の実施となります。また、今年1月に発生した能登半島地震の復興に向けた農業機械分野での取り組みについて考えるシンポジウムも予定しています。

本大会では国内の大学、公的試験研究機関のほか、農業機械メーカー、食品加工機械メーカーなど産・学・官の立場で、農業食料工学に関わる技術者、研究者があつまり、農業生産や食品保存・加工に関連する最新の研究成果、知見を演題とした活発な討論が行われ、日本や東北の農業および食料生産技術等の発展において大きく貢献することが期待されます。大会のスケジュールについては、本大会ホームページをご覧ください。

<https://am.j-sam.org/2024/>

【農業食料工学会第82回年次大会】

今回の年次大会での発表総数は163課題で、一般講演が52課題、オーガナイズドセッションでの発表が86課題、ポスター発表が25課題あります。今回の年次大会は9月8日～9日まで2日間、7会場を借用して開催します。ポスター発表（9日）は農学部1号館の大会議室を借用して終日ご覧頂けるように設置します。また、9月8日と9日には、山形県内外の企業11社の展示も予定しており、最新の農業機械についての情報交換の場を設けております。

【シンポジウム】

本学会でのシンポジウムは、9月8日15時30分から農学部301講義室で「能登半島農業の復興に向けた農業機械分野の取り組み」のタイトルで実施します。本年1月1日、能登半島でM7.6の大規模地震が発生しました。お正月で家族団らんの中での地震と津波と火災で、多くの方々が被災しました。復興の道筋が見えない中での生活が今も続いています。東日本大震災からの復興では、先端技術を用いた農業の復興に本学会関係者が多く参加し、福島復興再生では今なお多くの研究が続けられています。本シンポジウムでは、能登半島地震による農業被害の現状と課題を理解し、宮城や福島での復興支援の知見も活かしつつ能登半島の農業の復興について議論します。

- 講演
1. 仙台平野津波被災地の先端技術による復興支援（東北大学大学院農学研究科 大谷 隆二 氏）
 2. 日本大震災から13年、福島県の現状と福島大学の復興に向けた取り組み
（福島大学 食農学類 窪田 陽介 氏）
 3. 能登半島地震における農業被害と課題～能登の創造的復興に向けて～
（石川県農林総合研究センター 藪 哲男 氏 植松 繁 氏）
- 総合討議（座長：北里大学獣医学部 長坂 善禎 氏）

お問い合わせ

学術研究院教授 片平光彦（農業機械学）／農学部主担当

TEL 0235-28-2904 メール mkata43@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp